

平成 30 年度（平成 29 年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

特 記 仕 様 書

福 島 地 方 環 境 事 務 所

## 1. 共通仕様書の適用

平成 30 年度（平成 29 年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事は、除染等工事共通仕様書（第 11 版）（以下「共通仕様書」という。）、平成 30 年除染関連業務共通仕様書（第 1 版）（以下「業務共通仕様書」という。）及び環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部及び水・大気環境局測量作業規定（以下「測量作業規定」という。）に基づき実施しなければならない。

## 2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記事項は次のとおりとする。

# 第 1 章 総 則

## 1. 目的

本工事は、平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法（平成 23 年法律第 110 号）第 28 条に基づく「特別地域内除染実施計画（檜葉町）」に基づき、檜葉町の除染特別地域の除染等の措置等に伴い発生した除去土壌等仮置場の復旧等工を行うものである。

## 2. 工事種別

本工事の工事種別は道路維持工事を準用している。

## 3. 仮置場復旧等工事対象地域

檜葉町仮置場復旧等工事の対象となる地域は、福島県双葉郡檜葉町のうち、除去土壌等仮置場設置場所等とする。別図 1 仮置場復旧等工事対象地域図及び別図 2 仮置場位置図を参照。

なお、仮置場復旧工事の対象箇所の名称を下記に示す。

- (1) 大谷（山岸・仲田）仮置場
- (2) 乙次郎仮置場
- (3) 大坂仮置場
- (4) 山田浜仮置場
- (5) 上小埞仮置場

また、森林内の憩いの場や日常的に人が立ち入る場所並びに既に除染が実施された場所を除いた生活圏及び林縁部から森林側に概ね 20m 入った部分（以下「林縁部」という。）を対象として除染措置等を行う。

## 4. 架空線等公衆物損事故防止関係

受注者は、工事区域内に横断している架空線等の前後や建設機械・運搬車両等が出入りする工事現場及び資材置場の出入口等には、高さ制限を確認するための安全対策施設（簡易ゲート）を設置するとともに、交通誘導員等を適切に配置し、誘導指示を行わなければ

ならない。なお、安全対策施設設置の詳細については、施工前に監督職員の承諾を得なければならぬ。

#### 5. 委託監督員

本工事には、共通仕様書第1章 1-1-2に規定する委託監督員を配置する予定であり、氏名等については別に通知する。

#### 6. 除染並びに仮置場工事に関する被災地以外からの労働者確保に要する間接費について

被災地以外からの労働者確保に要する間接費について当初は計上していない。除染並びに仮置場工事に関する間接費については必要に応じ協議するものとする。

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費、租税公課」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、除染特別地域における除染等工事暫定積算基準に基づき算出した費用に「東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について」（平成28年8月31日付け国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長通知（国技建発第3号））に基づく補正係数を乗じて計上しているが、被災三県における建設工事については、不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、除染特別地域における除染等工事暫定積算基準の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で協議するものとする。

営繕費：労働者送迎費（労働者宿舎等から現地集合場所までのマイクロバス等による送迎）、借上費（アパート等の借上げ費用を元請けが直接契約した場合）、労働者宿舎の維持・補修に要する費用

- (2) 受注者から請負代金内訳書の提出があった後、発注者は予定価格に対する実績変更対象費の割合を提示するものとする。なお、請負代金額の変更に伴い当該割合が変動した場合も、その都度、同様に提示する。
- (3) 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合は、実績報告書（様式）及び実績変更対象費に実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (4) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
- (5) 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、共通仮設費率分は、除染特別地域における除染等工事暫定積算基準に基づき算出した費用に「東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について」（平成26年2月3日付け国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長通知（国技建発第3号））に基づく補正係数を乗じた額から共通仮設費率分中の実績変更対象費を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもつ

て金額の変更を行うものとする。

- (6) 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名停止等の措置を行う場合がある。
- (7) 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

#### 7. 設計図書の変更

公告後発生する可能性が高いと考えられる次の各号に掲げる場合については、工事請負契約書第 19 条に規定する「必要があると認めるとき」に該当するものとする。

- 一 土地等の権利者からの同意の内容に応じて除染等の措置の方法を変更する必要がある場合（同意が得られず除染等の措置が実施できない場合を含む。）
- 二 家屋の撤去等、除染対象物についての今後の方針が判明したことに伴い除染等の措置の方法を変更する必要がある場合（除染等の措置を実施しない場合を含む。）
- 三 第 3 章 5 に示す除去土壌等の仮置場を変更する必要がある場合

#### 8. 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資 材 名	規 格	調達地域等
再生砕石	40-0mm	南相馬市周辺
砂	埋戻し用	南相馬市周辺

#### 9. 総価契約単価合意方式について

- (1) 本工事は、工事請負契約における受発注者間の双務性の向上の観点から、請負代金額の変更があった場合の金額の算定や部分払金額の算定を行うための単価等を前もって協議して合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化を図ることを目的として実施する総価契約単価合意方式の対象工事である。（共通仕様書第 1 章 1-1-6 の適用）
- (2) 請負代金内訳書の提出を求める場合、共通仕様書第 1 章 1-1-6 第 1 項及び第 2 項に係る規定は適用しないものとする。
- (3) 発注者・受注者間で締結した単価合意書は、公表することができるものとする。

#### 10. 技術提案に係る除染等の措置

- (1) 受注者は、入札時における技術提案が認められた場合は、第 3 章の規定にかかわらず、当該技術提案に従った除染等の措置等を講じなければならない。

- (2) 受注者は、認められた技術提案の中に、新たな除染等の措置等に係る技術が含まれている場合は、当該技術に係る除染実施前の表面汚染密度に対する除染実施後の表面汚染密度の比や除去土壌等の減容率等の目標値を設定しなければならない。
- (3) 受注者は、技術提案に従った除染等の措置を実施した結果、前項に規定する目標値を達成することができなかった場合には、目標値の達成を実現することが可能な追加的な措置を講じなければならない。なお、当該追加的措置については、設計図書及び工期の変更の対象とはしないものとする。

#### 11. その他

- (1) 共通仕様書第1章第1節 1-1-1(4)にある④図面については、本特記仕様書の添付書類によるものとする。
- (2) 仮置場復旧等の対象となるもの等の数量を、別紙「数量総括表」に示す。

## 第2章 工事材料

- ・特記事項なし

## 第3章 仮置場復旧等工事

### 1. 空間線量率

本工事の現場近傍における空間線量率は、およそ次のとおりである。

空間線量率：0.20  $\mu$  S v/h

(環境省による事後調査のモニタリング結果(平均値)より)

### 2. 試験施工

共通仕様書第3章 3-1-1 に従い、試験施工を行うこと。

### 3. 仮置場復旧等の措置

- (1) 共通仕様書第3章第2節(別紙「数量総括表」で該当する部分)及び試験施工の結

果により除染等の措置を講ずること。これにより難しい場合は、監督職員に報告しその指示に従うこと。又、仮置場復旧等工事の内、仮置場の原状回復標準工法の見直しは設計変更の対象とする。

- (2) 水田、畑の地力回復材として、10,000m<sup>2</sup> 当たり熔リン 400kg、ケイ酸カリウム 800kg を散布すること。また、ゼオライトは、1,000m<sup>2</sup> 当たり 1 t を散布すること。
- (3) 除染等の措置で発生した草、枝葉等については、原則として自走式木材破砕機を用い現場にて破砕・減容化すること。

本工事で発生する除去土壌等を搬入する仮置場又は一時保管所予定の所在地、搬入元及び想定している搬入量は以下のとおりである。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議するものとする。

名称	所在地	搬入元	想定搬入量
上井出地区 仮置場	双葉郡檜葉町大字井出字 鹿島 1 5 4 番地外 2 5 筆	双葉郡檜葉町大字井出字 奥海、苺集、萩平、小豆田、向 ノ内、五里内、上ノ岡、西原、 木屋、八石、木屋下、鹿島 大字北田字 鐘突堂（一部）	9 m <sup>3</sup>

#### 4. 仮置場等の維持管理及び原状回復

共通仕様書第3章第2節13（別紙「数量総括表」で該当する部分）及び別紙「仮置場の標準仕様」により、措置を講ずること。これにより難しい場合は、監督職員に報告しその指示に従うこと。

仮置場の原状回復については、既設の仮置場からの不燃物及び可燃物の除去土壌等の搬出に伴い、空き地になった敷地を原形復旧する。原状回復範囲については、監督職員が指示する。

#### 5. 屋外残置廃棄物の収集及び保管

受注者は、除染等の措置等とあわせて、住宅の庭先等屋外に残置され、関係人が廃棄する意思を示しているもの（以下「屋外残置廃棄物」という。）のうち、関係人の廃棄する意思を確認したものについて、収集及び保管を行う。

- (1) 屋外残置廃棄物のうち、関係人の廃棄する意思を確認し、本工事における処理の対象物としてリボン等でマーキングされたものについて、別途提供する一覧表と照合しながら、大型土のう袋等に格納すること。大型土のう袋等が破れる恐れがある形状の屋外残置廃棄物を格納する場合には、あらかじめ厚手の袋に入れる等の措置を講じた上で格納すること。
- (2) 屋外残置廃棄物は、可燃物と不燃物に分別して格納し、大型土のう袋等には共通

仕様書 4-3-3（識別番号及び QR コードに係る部分を除く。）に従いタグ等を添付すること。なお、タグの色は内容物ごとに下表のとおり分類すること。

色名	内容物
桃色	可燃物（プラスチック類、ゴム類、木製品、紙類等）
紫色	不燃物（瓦、コンクリート類、ガラスくず、金属くず等）

(3) 屋外残置廃棄物は、廃棄物関係ガイドライン（平成 25 年 3 月環境省編）第六部（特定廃棄物関係ガイドライン）に従い収集し、現地の指定場所に保管すること。

(4) タグについては、環境省より無償で支給する。屋外残置廃棄物のタグについては、管理番号を設定するものではないが、施工上の管理ができるようにしておくこと。

## 6. 仮置場復旧等工事対象仮置場

本工事のうち、復旧等工事の対象とする仮置場の所在地及び除去土壌等の搬出完了後の遮へい土のう等を撤去する。遮へい土のうを各仮置場で破袋し、発生した土砂等は浪江町の指定する仮置場に 10t ダンプトラックにて運搬する。これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。また、撤去した下部シート類等は適正に処理すること。

名称	所在地	遮へい土のう袋数量
大谷地区（山岸・仲田） 仮置場	双葉郡檜葉町大字大谷字山岸 27-1～36-1、字仲田 1-1～7-1	
乙次郎地区 仮置場	双葉郡檜葉町大字大谷字郭公国有林 709 林班ね 1 小班他	1.0m <sup>3</sup> 袋 - 368 袋
山田浜地区 仮置場	双葉郡檜葉町大字山田浜字免田 16 番地	1.0m <sup>3</sup> 袋 - 2,956 袋
大坂地区仮置場	双葉郡檜葉町大字山田岡字大坂 3-36 他	
上小埜地区 仮置場	双葉郡檜葉町大字上小埜字大師作 1 他	0.5m <sup>3</sup> 袋 - 9,200 袋 1.0m <sup>3</sup> 袋 - 890 袋

仮置場等の標準構造は別図 3 のとおりである。なお構造が、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

## 7. 除去土壌等の収集、運搬

発生した除去土壌等は、共通仕様書第3章 3-1-3 に従い収集し、第3章 3. (3) に示す仮置場等予定地に運搬すること。運搬にあたっては、監督職員の指示に従うこと。また、除去土壌等は共通仕様書第4章第3節に従い取り扱うこと。

# 第4章 施工管理

## 1. 出来形管理基準

本工事に用いる規格値は、共通仕様書「除染等工事施工管理基準及び規格値」による他、下記によるものとする。

### ・出来形管理

前記共通仕様書にない事項については、国土交通省東北地方整備局及び農林水産省の各基準に準拠するものとする。その運用については、監督職員の指示に従うこと。

## 2. 放射線量の測定・記録

共通仕様書第4章 4-1-1 を遵守し、以下により放射線量の測定及び記録を行うこと。

- (1) 試験施工を実施する際には共通仕様書第4章 4-1-2-1 に、除染等の措置を実施する前には共通仕様書第4章 4-1-2-2 に、除染等の措置を実施した後は共通仕様書第4章 4-1-2-3 に従い、放射線量の測定・記録を行うこと。
- (2) 仮置場等においては、共通仕様書第4章 4-1-3-2 及び 4-1-3-3 に従い放射線量の測定を行うこと。また、原則毎月1回浸出水集水設備に浸出水が溜まっている場合、浸出水の放射能濃度の測定・記録を行うこと。
- (3) 除去土壌等を保管した大型土のう袋等については、共通仕様書第4章 4-3-2 に従い放射線量の測定・記録を行うこと。
- (4) 受注者は、住宅地等における除染について、その施工結果に係るチェックリストを作成し、監督職員に提出しなければならない。また、住宅地等の除染等の措置を実施した後、作業責任者(工区長又は職長を想定)は、当該チェックリストに基づき、住宅地等ごとに施工が適切に行われたかの確認を行い、その結果を監督職員に提出しなければならない。
- (5) 受注者は、除去土壌等を保管する仮置場等について、工事完了検査が終わるまで本仕様書に基づき適切に保全・管理しなければならない。

## 3. 確認調査

- (1) 受注者は、監督職員の指示に基づき、共通仕様書第4章 4-2-1 から 4-2-3 までに従い、確認調査を実施しなければならない。
- (2) 確認調査の対象地点は、監督職員が指示する。その面積は、次の各号に掲げる対象ごとに、それぞれの総面積の1パーセント程度を想定している。



- ① 建築物
  - ② 住宅地等の庭等のうち舗装されている場所
  - ③ 学校、小規模な公園及び大型施設のグラウンド等のうち舗装されている場所
  - ④ 舗装された道路
- (3) 受注者は、確認調査の結果、管理値を超えて放射線量の大幅な低下が認められた場合には、監督職員の指示に基づき、確認調査の対象となった区域について、除染等の措置を再度実施しなければならない。ただし、放射線量の大幅な低下の原因が、再汚染等の受注者の責に帰せないものとして監督職員が承諾した場合はこの限りでない。

#### 4. 損壊場所の撮影

受注者は、別途提供する現況確認書（除染等の措置を行う建物、土地等に権利を有する者（以下「関係人」という。）との間で除染対象となる住宅等の損壊状況を確認した書類のことをいう。以下同じ。）において除染作業の実施前にすでに損壊している箇所がある場合、除染作業の実施前後の当該損壊箇所の写真を写真撮影基準に従い撮影し、記録しなければならない。

## 第5章 報 告

### 1. 提出図書

- ①受注者は、工事完了に際して共通仕様書第1章 1-1-27 に示す図書を成果物として監督職員に提出すること。その他、監督職員より指示する図書を随時提出すること。
- ②紙媒体 1部
- ③上記図書の電子データを収納した電子媒体（DVD-R、CD-R または BD-R） 5式  
電子データの仕様及び記載事項は、別添1によること。

## 実績変更対象費に関する実績報告書

費目		費用	内容	計上額 (※1)
共通仮設費	営繕費	維持・修繕費	労働者宿舍の維持・補修に要する費用	①
		借上費 (※2)	労働者宿舍、倉庫、材料保管場所等の敷地借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用	②
				③ ( )
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送をするために要した費用 (運転手賃金、車両損料、燃料費等含む)	⑤	
計	⑥=①+②+⑤			⑥
	⑦=①+③+⑤			⑦ ( )

※1 計上額には、消費税抜きの金額を記入してください。ただし、工期中の消費税率の改正に伴い、報告した支出実績に複数の消費税率が適用されている場合には、記入内容・方法について、環境省担当官に事前確認してください。

※2 「借上費」は二段書とし、上段に消費税抜きの金額を、下段にはカッコ書きで、実際の支出額の108分の100に相当する金額を、それぞれ記載してください。

(別添)

## 1. 報告書等の仕様及び記載事項

報告書等の仕様は、「環境物品等の調達に関する基本方針」（平成30年2月9日閣議決定。以下「基本方針」という。）の「印刷」の判断の基準を満たすこと。

なお、「資材確認票」（基本方針210頁、表3参照）及び「オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト」（基本方針211頁、表4参照）を提出するとともに、印刷物にリサイクル適性を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙等に表示すること。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合は環境省担当官と協議の上、基本方針（<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/kihonhoushin.html>）を参考に適切な表示を行うこと。

## 2. 電子データの仕様

(1) Microsoft社Windows10上で表示可能なものとする。

(2) 使用するアプリケーションソフト及びファイル形式については、以下のとおりとする。

- ・文章；Microsoft社Word（ファイル形式は「office2010（バージョン14）」以降で作成したもの）
- ・計算表；表計算ソフトMicrosoft社Excel（ファイル形式は「office2010（バージョン14）」以降で作成したもの）
- ・画像；BMP形式又はJPEG形式

(3) (2)による成果物に加え、「PDFファイル形式」による成果物を作成すること。以上の成果物の格納媒体はDVD-R等とする。事業年度及び事業名称等を収納ケース及びDVD-R等に必ずラベルにより付記すること。

(4) 文字ポイント等、統一的な事項に関しては環境省担当官の指示に従うこと。

## 3. 電子成果物のフォルダ構成

電子成果物の作成にあたっては、紙納品された成果物の目録に対応したフォルダを作成した上で、データを保存すること。

また、格納媒体が複数枚にわたる場合は、フォルダ構成の一覧を作成添付すること。

## 4. ウイルスチェック

電子媒体に対し、ウイルスチェックを行うこと。ウイルスチェックソフトは常に最新のデータにアップデートしたものを利用すること。

## 5. その他

成果物納入後に受注者側の責めによる不備が発見された場合には、受注者は無償で速やかに必要な措置を講ずること。

別図

### 電子媒体への表記

電子媒体のラベル面に、次の事項を表記すること。

- 1) 「工事・業務番号」(別途指定する工事・業務番号を記載すること)
- 2) 「工事・業務名称」(正式名称を記載すること)
- 3) 「作成年月」(工期終了時の年月を記載すること)
- 4) 「発注者名」(正式名称を記載すること)
- 5) 「受注者名」(正式名称を記載すること)
- 6) 「何枚目／総枚数」(総枚数の何枚目であるかを記載すること)
- 7) 「発注者署名欄」(主任監督員又は主任調査職員が署名すること)
- 8) 「受注者氏名欄」(現場代理人又は管理技術者が署名すること)

(表記方法にかかる留意事項)

- ラベル面には、必要項目を表面に直接印刷、又は油性フェルトペンで表記し、媒体に損傷を与えないように留意すること。
- 電子媒体のラベル面へ印刷したシールを貼り付ける方法は、シール剥がれ等による電子媒体や使用機器への悪影響を鑑み、行わないこと。
- 表記事項のレイアウトは、以下の表記例によること。



- (電子媒体への表記例)

添付書類

・添付図面

下記一覧のとおり

添付図面			
番号	図面名称	枚数	備考
別図 1	仮置場復旧等工事対象地域図	1	
別図 2	仮置場位置図	1	
別図 3	仮置場標準仕様図	1	
別図 4	大坂地区仮置場平面図	1	
別図 5	大坂地区仮置場詳細平面図	1	
別図 6	大坂地区仮置場断面図	1	
別図 7	大坂地区沈砂池詳細平面図	1	
別図 8	大坂地区沈砂池断面図	1	
別図 9	乙次郎地区仮置場平面図	1	
別図 10	乙次郎地区仮置場標準断面図	1	
別図 11	乙次郎地区沈砂池詳細図	1	

・数量総括表

別紙に示す。

## 仮置場の標準仕様（除去土壌等を防水性又は遮水性のない容器に充填した場合）

項目	区分	仕様
大型土のう袋等への詰め込み量	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1.0m<sup>3</sup>/袋程度</li> <li>（詰め込み量を均平化し、大型土のう袋等の型くずれ防止・使用する袋数削減のため大型土のう袋等の容量を有効に活用する。耐荷重性のある大型土のう袋等を使用する。）</li> </ul>
除去物設置場所の設置間隔	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成後の通路として4 m程度を確保し、通路・作業スペースとなるところは8 m程度を確保する。（現場条件により、4 m程度の確保が難しい場合でも、車両通行が必要な箇所については最小限3 m程度を確保する。）</li> </ul>
除去物設置場所の大きさ、面積（遮蔽土のうを含む）	不燃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重機で除去物設置場所外側から土のうを設置出来る大きさ、形状</li> </ul>
	可燃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重機で除去物設置場所外側から土のうを設置出来る大きさ、形状</li> <li>・短辺方向の長さが19m程度まで</li> </ul>
除去物の積み上げ高さ、勾配	不燃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ：遮蔽土のうを除き完成時5 m程度以下</li> <li>・勾配：1：0.5以下の緩勾配とする。</li> </ul>
	可燃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ：遮蔽土のうを除き完成時2 m程度以下（放熱管（ガス抜き管）による放熱促進等の措置がとられている場合には遮蔽土のうを除き完成時3 m程度以下）</li> <li>・勾配：1：0.5以下の緩勾配とする。</li> </ul>
仮置場排水勾配	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0.5%以上</li> </ul>
ガス抜き口	不燃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則不要（内部で発生したガスが抜けない構造となっている場合は、上部シートにガス抜き口を設置する。）</li> </ul>
放熱管（ガス抜き管）	可燃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・200m<sup>2</sup>程度毎に1本</li> <li>・φ150mm程度（原則最下段の保管物の上面に届く深さまで設置する。）</li> <li>・保管物の減容等による上部シートの動きに追従出来るよう二重管等の構造とする。</li> <li>・放熱管（ガス抜き管）とシートの接合部から雨水が浸入することがない構造とすること</li> <li>・放熱管（ガス抜き管）の開口部は雨水が入らない構造とするとともに、内部ガスの濃度測定、内部温度の計測が可能な構造とすること</li> </ul>
温度計	不燃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要</li> </ul>
	可燃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収集機器付き温度センサーは200m<sup>2</sup>程度毎に1箇所設置する。（原則、データロガーも現地に設置）</li> <li>・温度計は防水加工されたものを用いるとともに、保護管等で養生する等のケーブルの損傷を防ぐ措置を講ずること</li> <li>・温度計は保管物設置場所の内部温度を確認するために適切</li> </ul>

		な位置に設置すること
上下シートの端部	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端部から雨水等の浸入を防ぎ、内部からの浸出水の漏出を防止するため、上下のシートを溶着する、端部から法面向けてシートを立ち上げる等の措置を講ずること</li> <li>・押さえ土のう等の設置、上下のシートの溶着等により端部の押さえ措置を講ずること</li> </ul>
浸出水集排水溝	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管物設置場所内の浸出水を適切に集排水するため、保管物設置場所に浸出水集排水溝を原則として保管物設置場所の外縁部に設置すること</li> </ul>
浸出水集水設備	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸出水集水設備を保管物設置場所面積 200～250m<sup>2</sup> 程度毎に 1 m<sup>3</sup> を目安として設置すること</li> <li>・浸出水集水設備の設置容量に応じ、一時的に浸出水を貯留しておく地上置きタンクを設置すること</li> <li>・浸出水集水設備内の貯水量監視・汲み出し孔の口元を下部シート敷設基盤面より 50cm 程度嵩上げし、地表水等が入らないようにすること</li> <li>・地下水による浮き上がり防止措置を講ずること</li> </ul>
地表水排水溝	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮置場内の雨水排水等を行うため、仮置場敷地外周部に集排水溝を設置すること（農地等で既存の排水溝等を活用可能な場合を除く）</li> <li>・傾斜等により設置が必要な場合は、保管物設置場所の周囲に集排水溝を設置すること（農地等で既存の排水溝等を活用可能な場合を除く）</li> </ul>
地下水監視孔	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水監視孔を仮置場 1 箇所あたり 1 地点以上設置すること</li> <li>・地表水等の浸入を確実に防止するとともに、表層部の地下水を確実に捕捉出来る構造とすること</li> </ul>
柵	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管物設置場所から原則 4 m 程度離して仮置場外周に設置する。（現場条件により、4 m 程度の確保が難しい場合でも、車両通行が必要な箇所については最小限 2 m 程度を確保する。）</li> <li>・仮置場設置の条件上、目隠し効果が必要な箇所については目隠し効果のある構造とする、人の立入りが困難な箇所については簡易な構造とする等周辺の環境条件に応じて適切な仕様とする。</li> </ul>
掲示板・看板	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除去土壌の保管に係るガイドライン及び除染廃棄物関係ガイドラインに基づく掲示板を設置すること・空間線量率の測定結果を表示するための看板を設置すること</li> </ul>
消火設備	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期消火用として、消火器を設置すること</li> </ul>

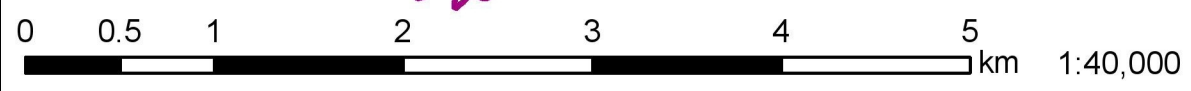
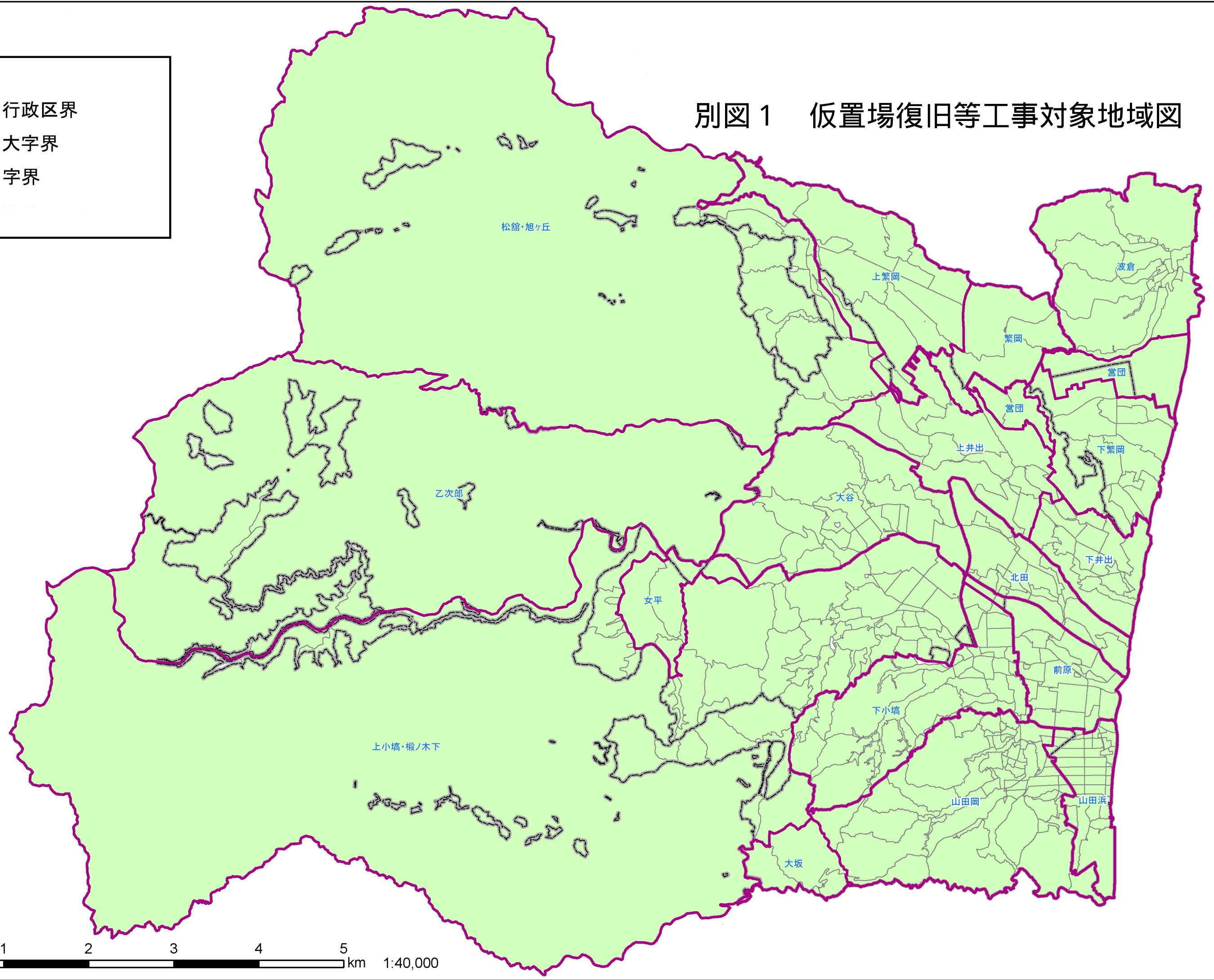
上記により難しい場合は、監督職員に報告しその指示に従うこと



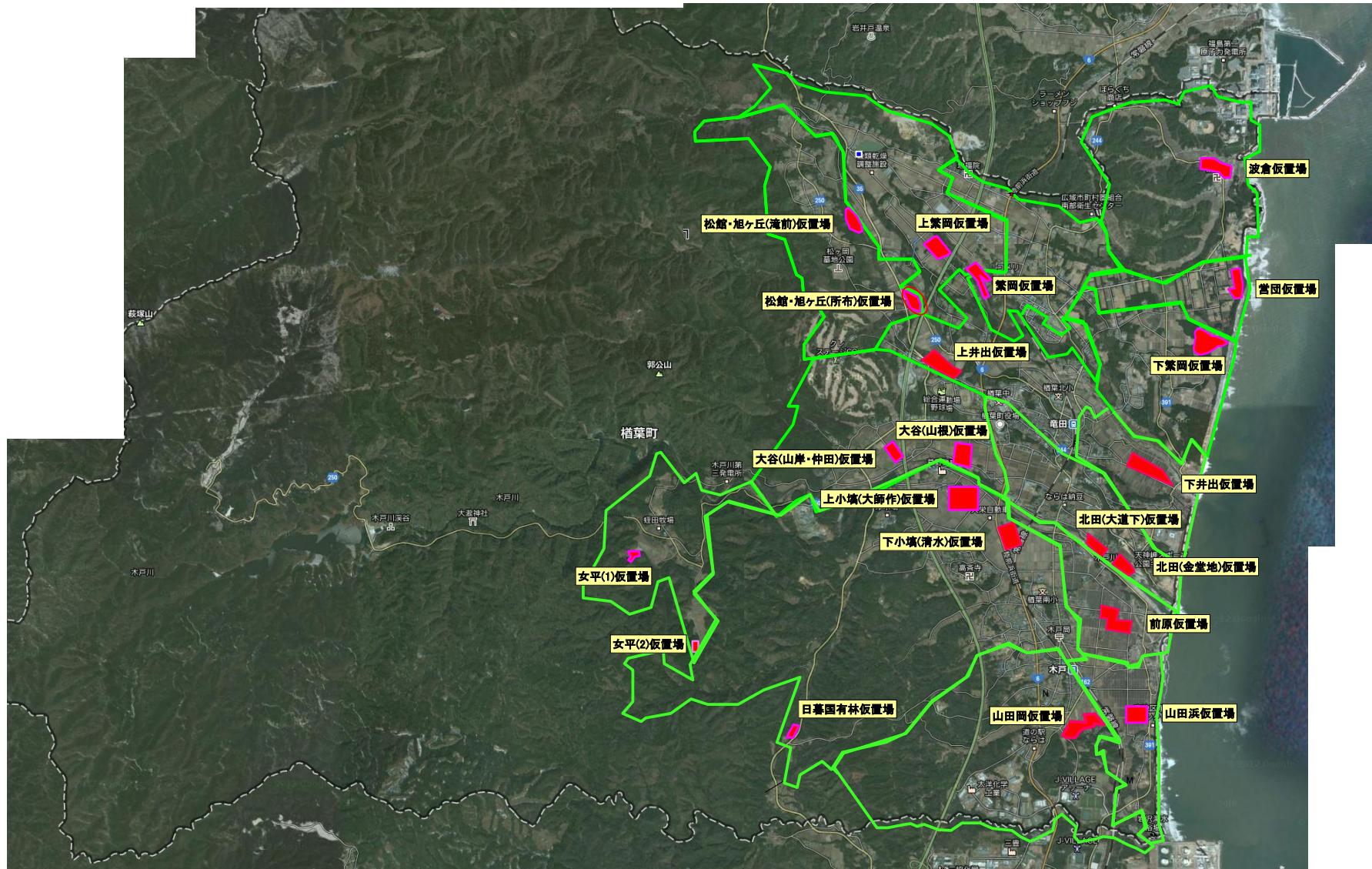
凡例

- 行政区界
- 大字界
- 字界

別図1 仮置場復旧等工事対象地域図



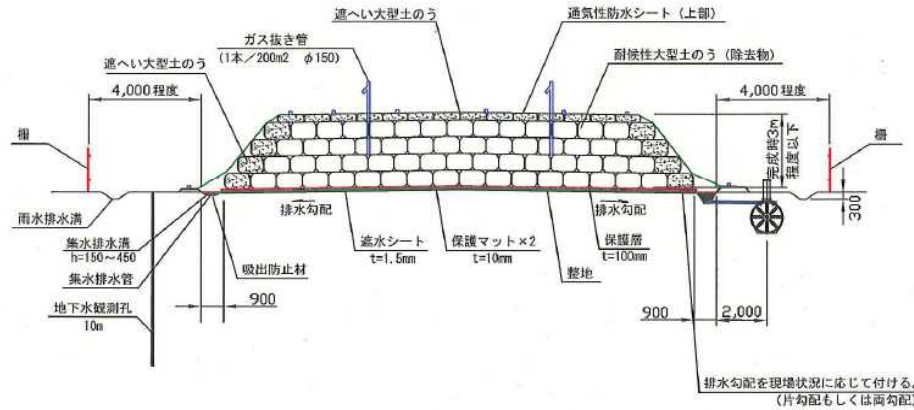
別図2 仮置場位置図



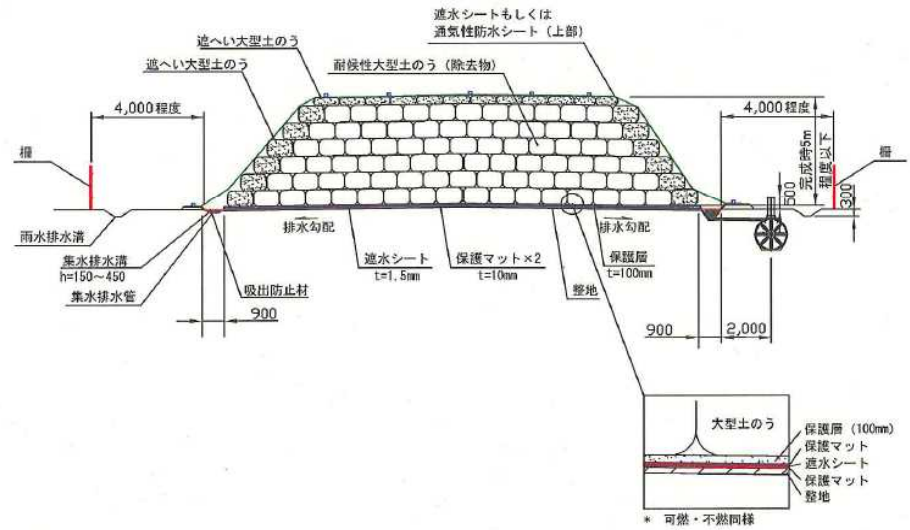
### 別図 3 仮置場標準仕様(参考構造図)(地上式)

※本図は、標準を示したものであるが、必要に応じて現地にあわせた構造とすること。

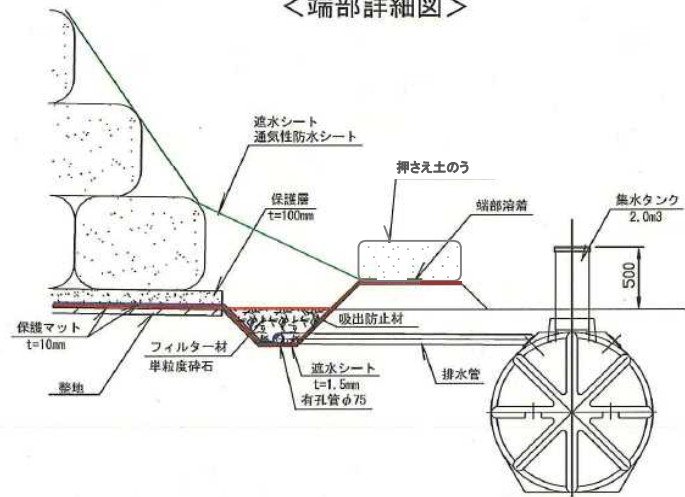
#### <可燃物>



#### <不燃物>

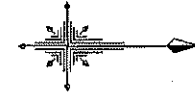


#### <端部詳細図>

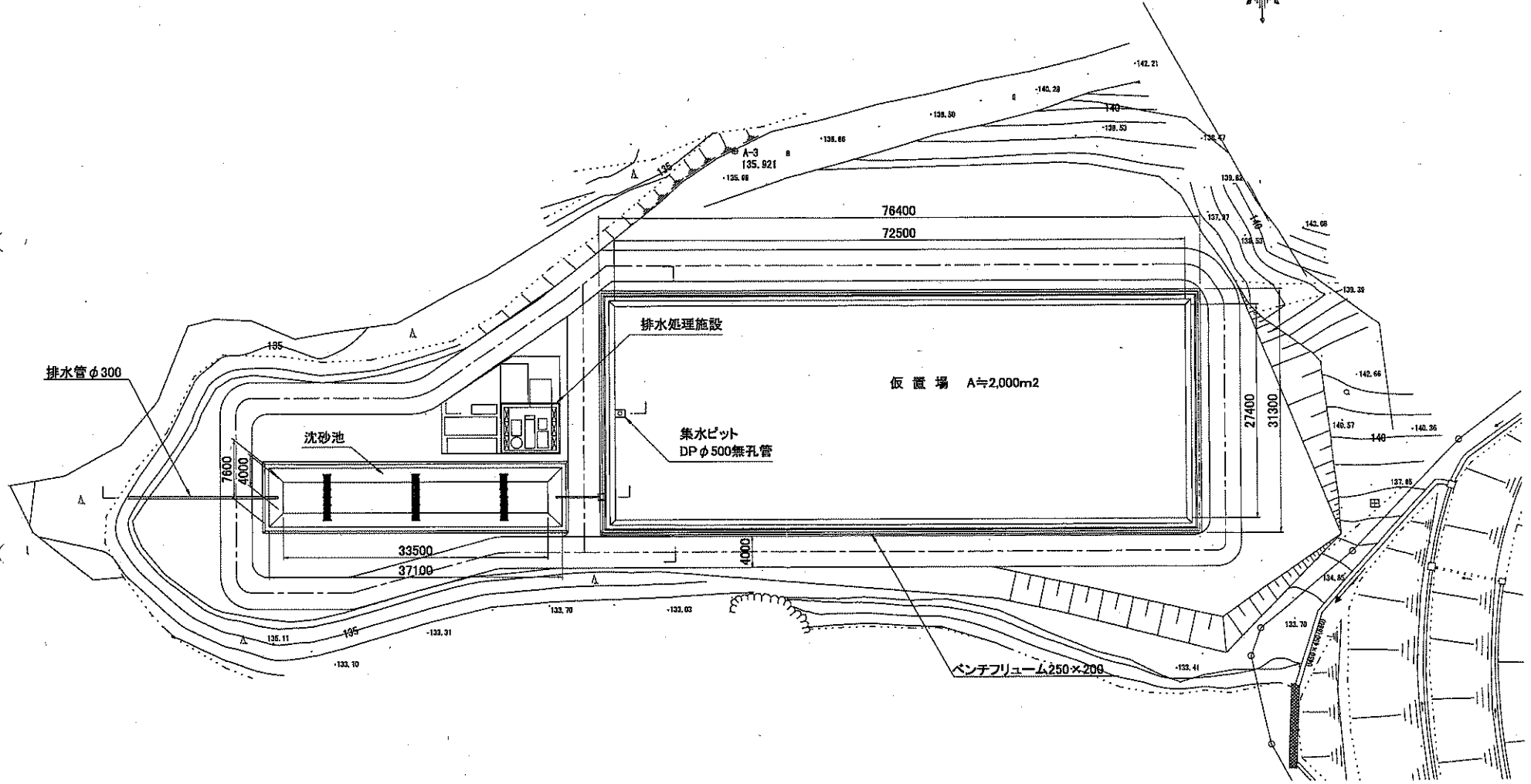


\* 地下水による浮き防止を適宜行う

別図 4 大坂地区 仮置場平面図 S=1:500(A3)

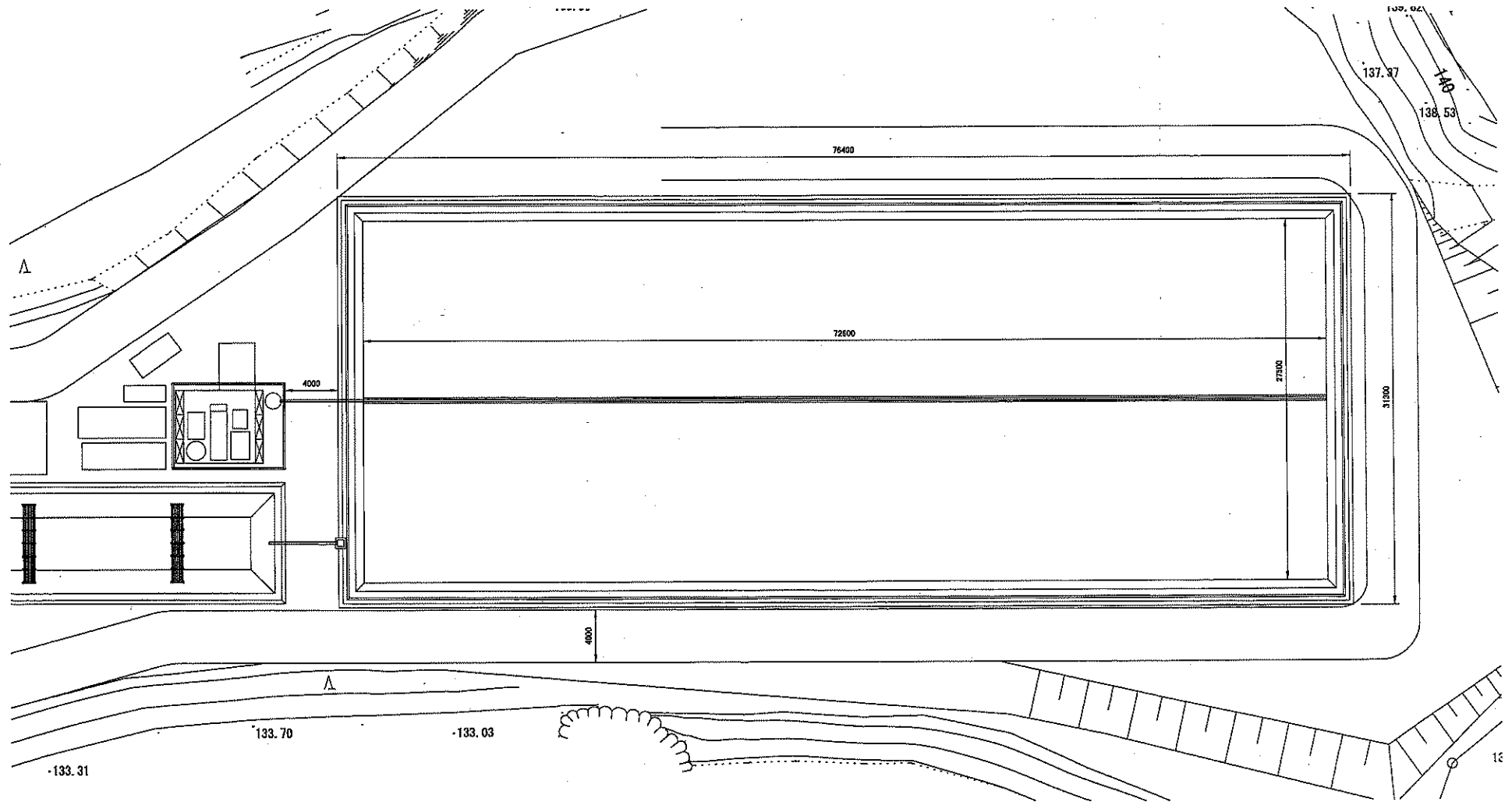


A-4  
147.055  
④



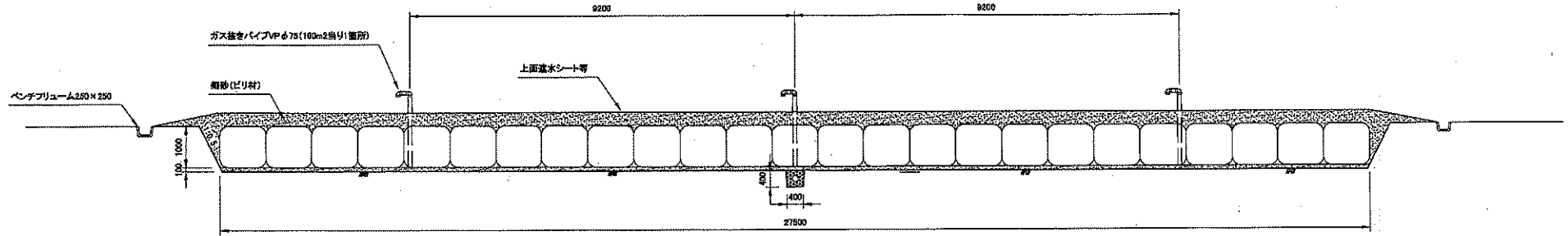
PROJECT			
提出先			
TITLE 大坂地区 仮置場平面図			
設計番号		図面番号	
縮尺	米	縮尺	作成
図示			
年月日			

別図 5 大阪地区仮置場詳細平面図 S=1:300



PROJECT			
提出先			
TITLE 大阪地区仮置場詳細平面図			
図号番号		図面番号	
縮尺	基礎	建築	作成
図示			
年月日			

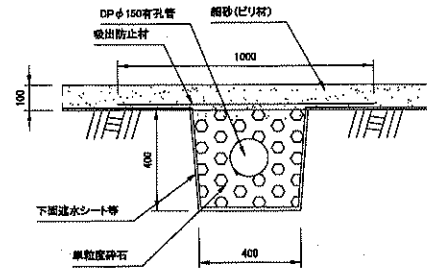
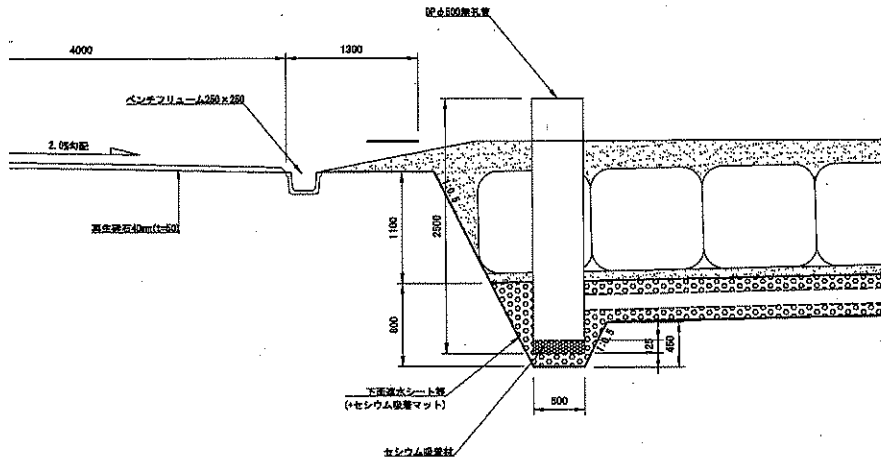
別図 6 大坂地区仮置場断面図 S=1:100



標準構造断面図 S=1:50

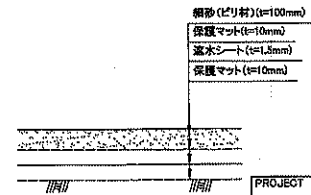
集水設備詳細図 S=1:20

上面遮水シート詳細図



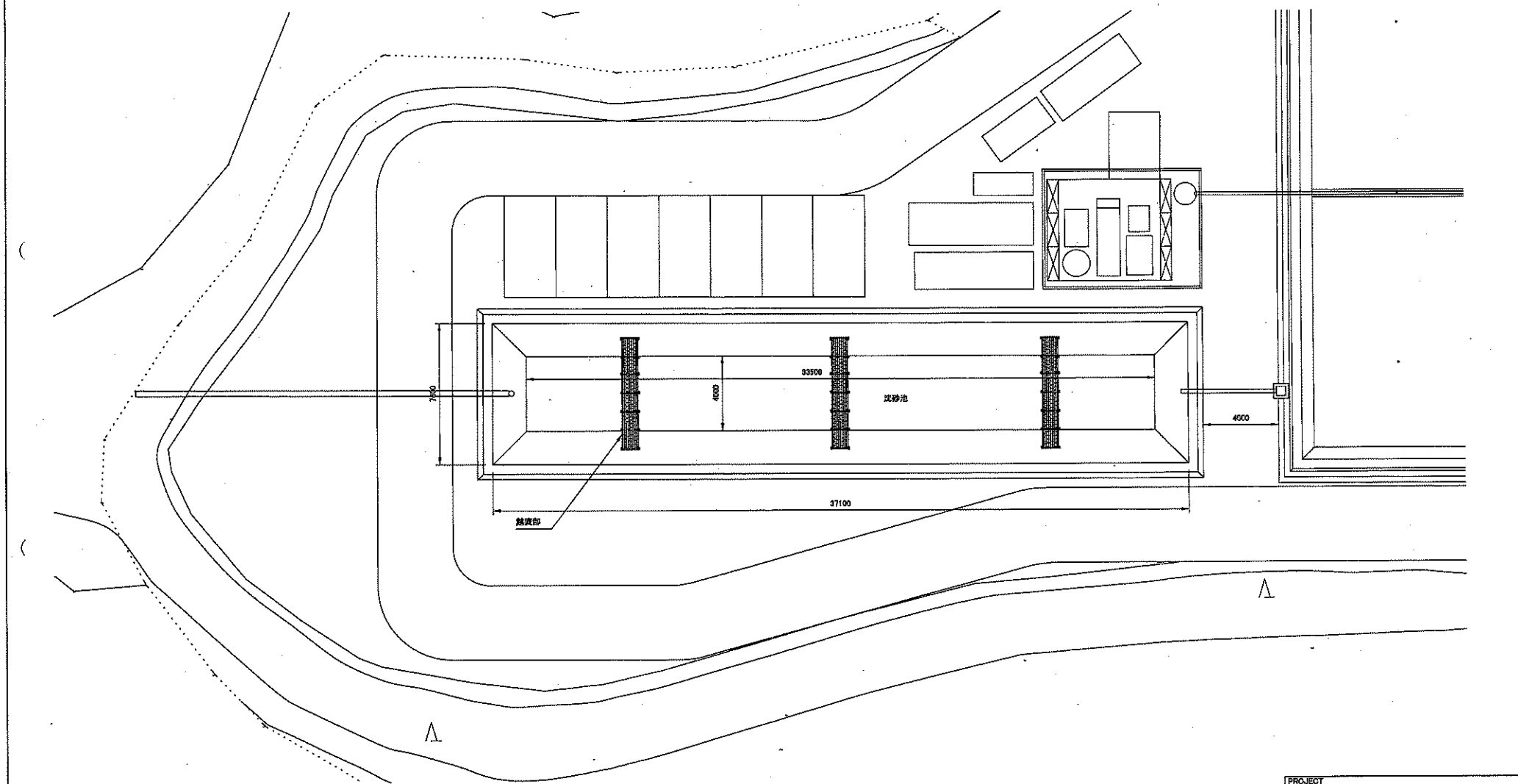
下面遮水シート詳細図

ガス抜管構造図 S=1:50



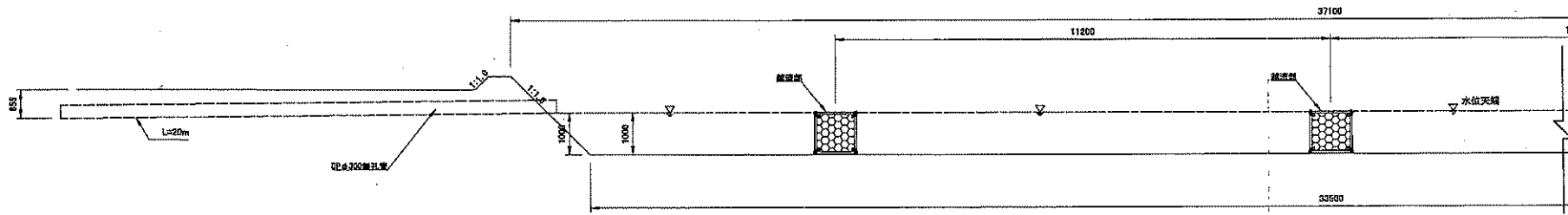
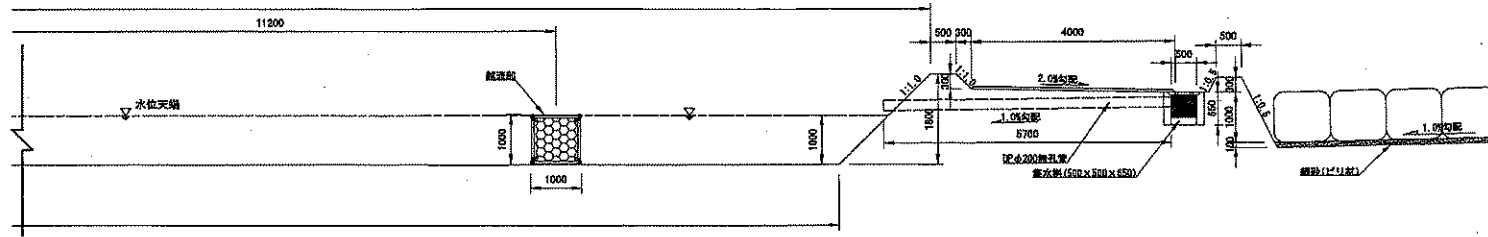
PROJECT			
提出先			
TITLE 大坂地区仮置場断面図			
設計番号		図面番号	
縮尺	承認	審査	作成
図示			
年月日			

別図 7 大阪地区沈砂池詳細平面図 S=1:200

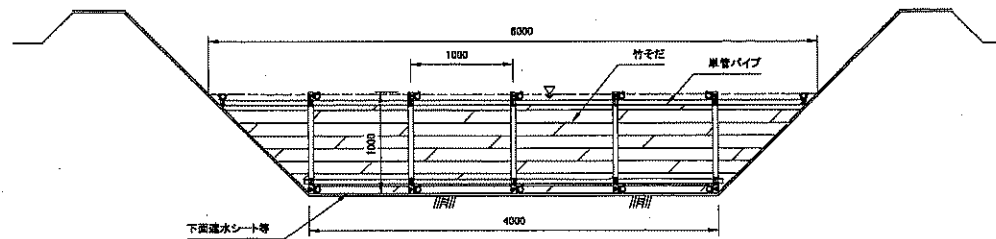


PROJECT			
提出先			
TITLE 大阪地区沈砂池詳細平面図			
設計番号		図面番号	
版 尺	案 紙	修 改	作 成
図 示			
年 月 日			

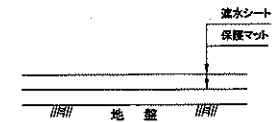
別図 8 大坂地区 沈砂池断面図 S=1:100



越流部詳細図 S=1:50



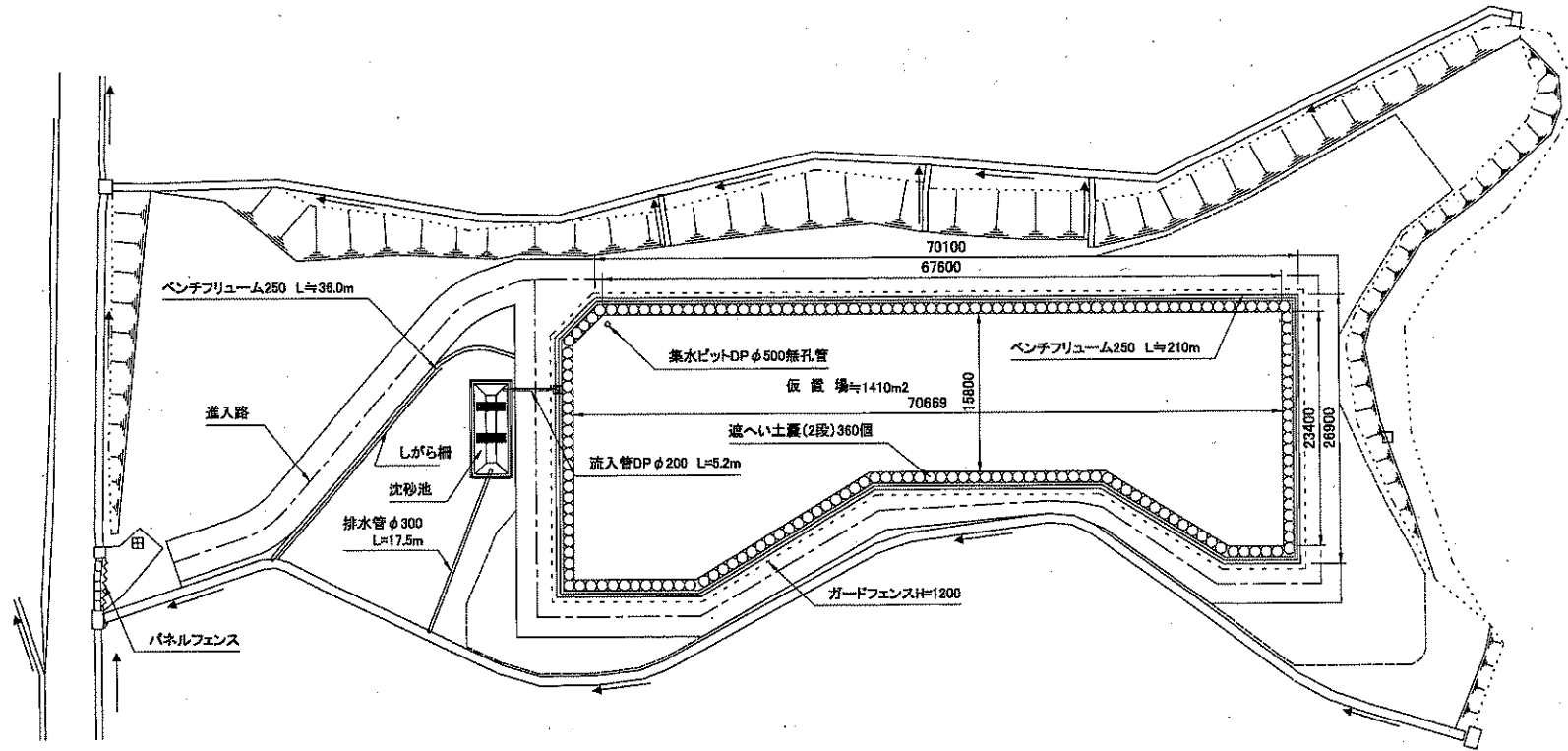
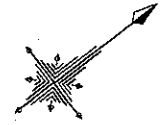
下面遮水シート詳細図



PROJECT			
提出先			
TITLE 大坂地区沈砂池断面図			
設計番号		図面番号	
縮尺	米数	変更	作成
図示			
年月日			

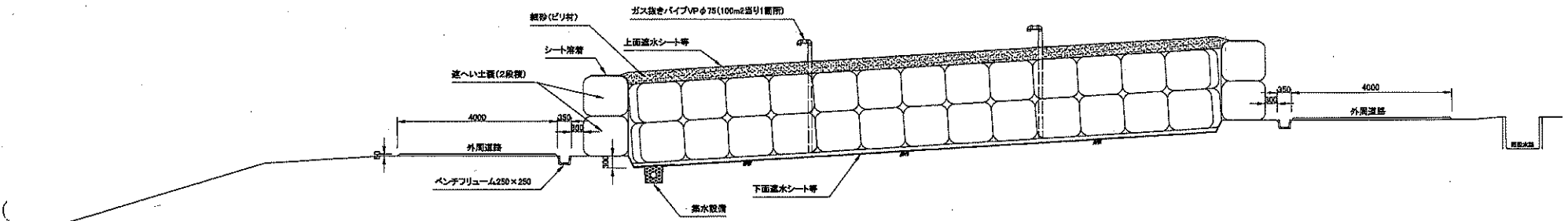


別図 9 乙次郎地区 仮置場平面図 S=1:500(A3)

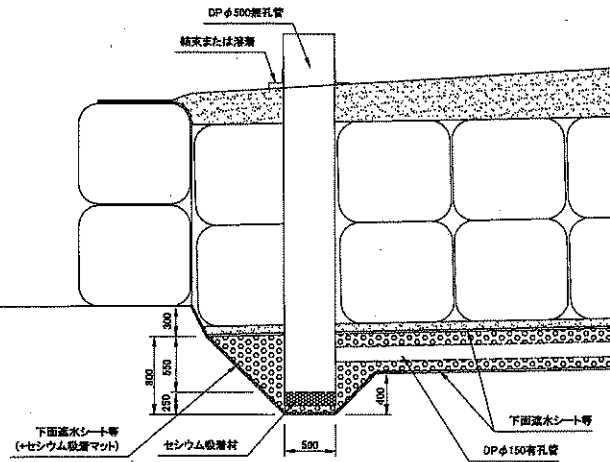


PROJECT				
提出先				
TITLE 乙次郎地区 仮置場平面図				
設計番号		図面番号		
図 尺	承認	審査	作成	
図 示				
年 月 日				

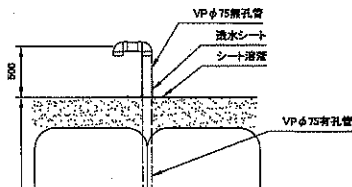
別図 10 乙次郎地区仮置場 標準断面図 S=1:100



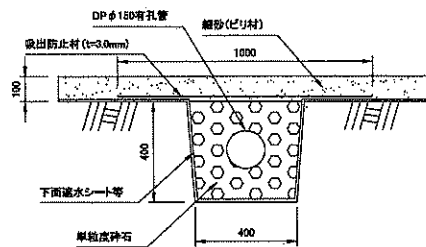
集水設備詳細断面図 S=1:50



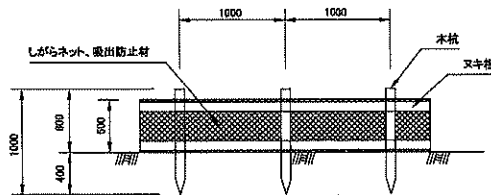
ガス抜管構造図 S=1:50



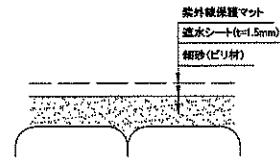
集水設備詳細図 S=1:20



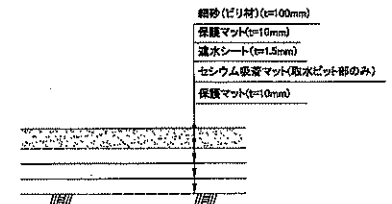
しがら柵標準図 S=1:50



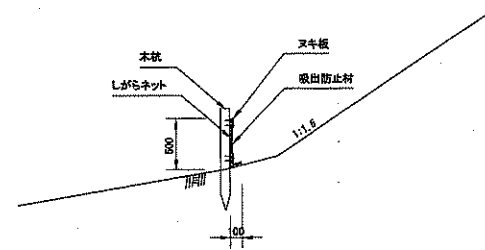
上面遮水シート詳細図



下面遮水シート詳細図

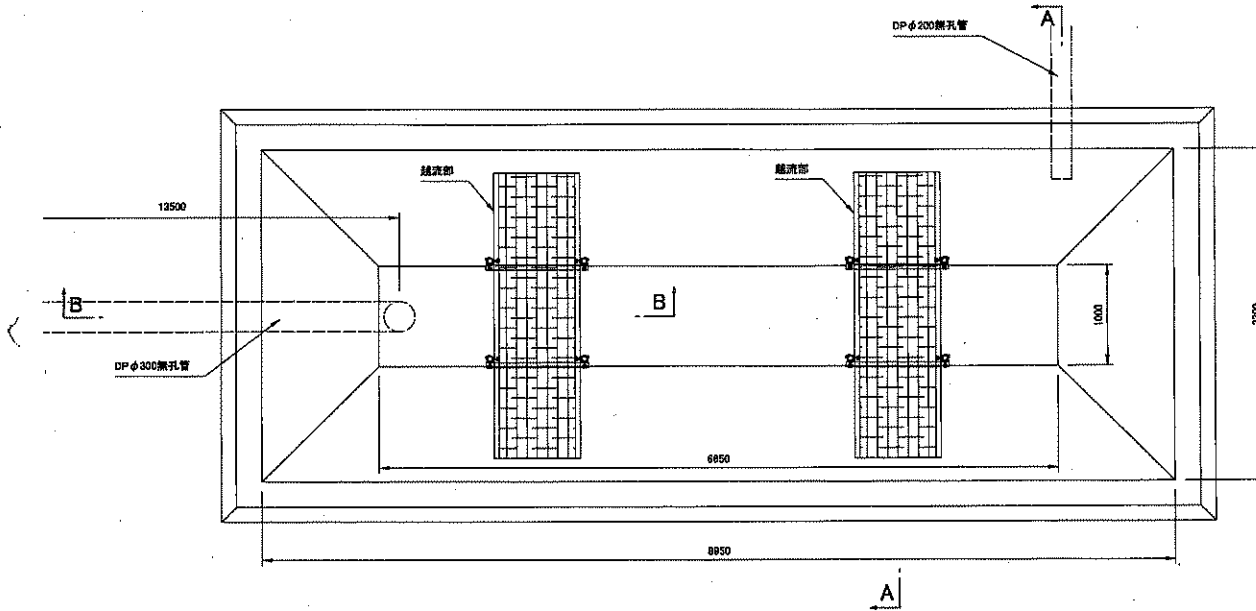


しがら柵断面図 S=1:50

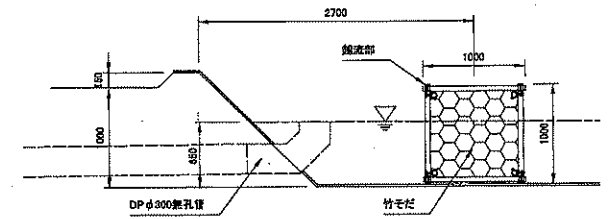


PROJECT			
提出先			
TITLE			
乙次郎地区仮置場 標準断面図			
設計番号	図面番号		
図示	承認	編集	作成
年月日			

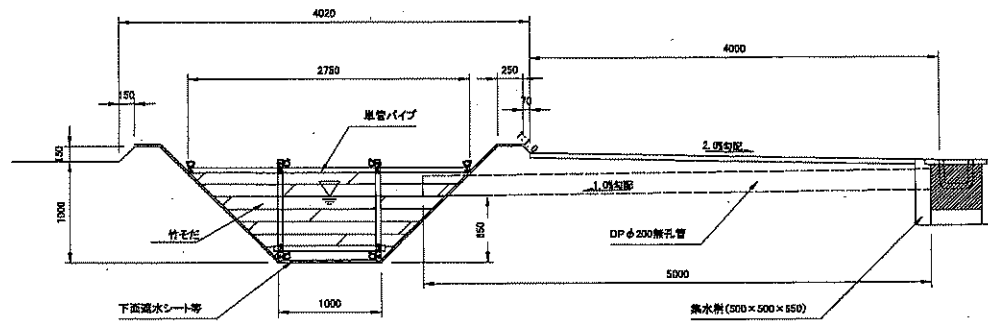
別図 11 乙次郎地区 沈砂池詳細図 S=1:50



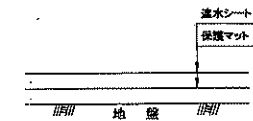
沈砂池 B-B断面図 S=1:50



沈砂池 A-A断面図 S=1:50



下面遮水シート詳細図



PROJECT			
種出先			
TITLE 乙次郎地区 沈砂池詳細図			
設計番号		図面番号	
概 尺	承認	製 表	作 成
図 示			
年 月 日			

## 別添2) 提出情報一覧

### 別添2) 提出情報一覧

・本工事の受注者は、監督職員等の指示に従い、以下の情報を原則毎月1回、所定の情報形式で提出するものとする

No	情報名	概要
1	除染前/除染後モニタリング情報	除染効果検証のため測定する、除染前後の空間線量率、表面汚染密度の測定結果
2	測定機器情報	モニタリング時に利用した測定機器の情報
3	仮置場情報	仮置場等の番号・名称・所在地
4	除去土壌等情報	除染により発生した、除去土壌等を格納した大型土のう袋等の情報(発生エリア、内容物、保管場所、空間線量率 等)
5	詰替除去土壌等番号履歴情報	経年劣化や減容化等による除去土壌等の詰め替え、QRタグの付け替え等により管理対象外となる大型土のう袋等番号の情報
6	仮置場定期モニタリング情報	仮置場等における空間線量率の測定結果
7	水調査情報	処理水、浸出水、地下水の濃度測定結果
8	広報用進捗情報	国民が理解しやすい方法で計算された、市町村レベルでの除染実績数量、受注数量

別添3) 提出情報詳細

下表「発番規則」、「コード」の列に数字の記載のある情報項目については、別添4、別添5で指定する発番規則、コードに従って記入するものとする

工程	情報No	情報名	ID	情報項目名	概要	発番規則	コード	備考		
4.除染	1	除染前/除染後モニタリング情報	64	測定番号	測定を一意に特定する番号。測定1回ごとに各受注者が任意に発番					
			65	測定年月日	測定年月日 (yyyy/mm/ddまたはyyyymmdd)					
			66	測定機器番号 (NaI)	空間線量の測定に用いた機器の測定機器番号	10				
			67	測定機器番号 (GM)	表面汚染密度の測定に用いた機器 (GM方式) の測定機器番号	10				
			68	除染前後識別	モニタリング実施タイミングを識別		2			
			69	管理番号	測定地点の管理番号		4			
			70	所在地	測定地点の住所			国有林・公衆用道路は記入任意		
			71	地点番号	測定地点に紐づく地点番号 (管理番号内の建物・土地ごとに付与する番号)					
			72	測定緯度	世界測地系 (WGS-84) に基づき、測定地点の緯度を10進法で記入 小数点以下桁数は少なくとも5桁とする			桁数は多ければ多いほど望ましい		
			73	測定経度	世界測地系 (WGS-84) に基づき、測定地点の経度を10進法で記入 小数点以下桁数は少なくとも5桁とする			桁数は多ければ多いほど望ましい		
			74	測定点番号	測定地点を一意に特定する番号。測定地点1点ごとに各受注者が任意に発番 (最大30桁)					
			75	測定対象 (大分類)	測定対象		26			
			76	測定対象 (中分類)	測定対象		27			
			77	特定地点情報	測定した地点が特定の部位に該当するかどうかを示す項目		28			
			78	斜面情報	測定した地点の斜面状況を示す項目		30			
			79	林線フラグ	林線として設定した測定点であることを示す項目 林線として測定した場合に「1」を入力			林線として設定した測定点では測定対象 (大分類) は「森林」以外 (例えば、宅地と接する林線であれば「宅地」) を選択する		
			80	道路中央点フラグ	道路の中央点として設定した測定点であることを示す項目 道路の中央点として測定した場合に「1」を入力					
			81	測定地表面	測定した地点の地物情報を示す項目		22			
			82	地点状況	測定地点の乾燥状況		11			
			83	天気	測定時の天気		12			
			84	気温	測定時の気温 (°C)					
			85	空間線量率 (1cm/コリメータ無)	コリメータを使用せず、測定対象物から1cmの距離で測定した結果 (μSv/h) ※校正後					
			86	空間線量率 (1cm/コリメータ有)	コリメータを使用し、測定対象物から1cmの距離で測定した結果 (μSv/h) ※校正後					
			87	空間線量率 (50cm)	地表面より50cm上空で測定した結果 (μSv/h) ※校正後					
			88	空間線量率 (100cm)	地表面より100cm上空で測定した結果 (μSv/h) ※校正後					
			89	表面汚染密度 (コリメータ無/遮へい板無)	コリメータ、遮へい板ともに使用しなかった場合の測定結果 (cpm) ※指示値			測定していない場合は空欄		
			90	表面汚染密度 (コリメータ無/遮へい板有)	遮へい板 (アクリル板) のみを使用した場合の測定結果 (cpm) ※指示値					
			91	表面汚染密度 (コリメータ有/遮へい板無)	コリメータのみを使用した場合の測定結果 (cpm) ※指示値					
			92	表面汚染密度 (コリメータ有/遮へい板有)	コリメータ、遮へい板ともに使用した場合の測定結果 (cpm) ※指示値					
			93	避難指示区域分類	測定地点の区域		40			
			94	備考	備考欄					
			2	測定機器情報	95	測定機器番号	測定機器を一意に特定する番号	10		
					96	メーカー名	測定機器のメーカー名			
					97	製品名	測定機器の製品名			
					98	型番・型式	測定機器の型番			
					99	シリアル番号	測定機器のシリアル番号			
					100	校正定数-A	測定結果 (NaI) の値を決める閾値 (備考参照)			
					101	校正定数-B	測定結果 (NaI) の値を決める閾値 (備考参照)			
					102	校正定数-C	測定結果 (NaI) の値を決める閾値 (備考参照)			
					103	校正定数-A	セシウム測定時の (空間線量率) 測定機器の校正値 (備考参照)			
					104	校正定数-B	セシウム測定時の (空間線量率) 測定機器の校正値 (備考参照)			
					105	校正定数-C	セシウム測定時の (空間線量率) 測定機器の校正値 (備考参照)			
					106	換算係数	計数率 (cpm) から表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> ) に換算する係数			
					107	備考	備考欄			
					108	備考	備考欄			
			3	仮置場情報	109	仮置場番号	仮置場を一意に特定する番号	12		
					110	所在地	仮置場の住所			
					111	仮置場名	仮置場の名称			
					112	備考	備考欄			
			4	除去土壌等情報	113	除去土壌等番号	除去土壌等を格納した大型土のう袋等を一意に特定する番号	11		
					114	仮置場番号	除去土壌等を受け入れた仮置場の番号	12		
					115	エリア名	除去土壌等が発生した地域 (工区や仮置場の所属する地域等)			
					116	津波浸水	津波の浸水があった土地から発生している場合は「1」を記入 そうでない場合は「空白 (Null)」			
					117	特定施設	特定施設を参照し、特定施設から発生している場合は「1」を記入 そうでない場合は「空白 (Null)」			
					118	除去土壌等種別	除去土壌等の種別	6		
					119	発生土地分類	除去土壌等の発生した土地 (現況) の分類	31		
					120	荷姿種別	荷姿の種別	7		
					121	内袋の利用方法	※内袋を使用した際は、「2フレキシブルコンテナ耐水・耐酸性 (3年)」を選択すること 大型土のう袋等の内袋の使用有無、内袋を使用している場合はその枚数等を識別	32		
					122	アルミ内袋の利用	大型土のう袋等の内袋の材質	33		
					123	容積	除去土壌等を格納した大型土のう袋等の容積 ※厳密な測定は必要なく、大まかな値で良い			
					124	空間線量率 (1cm)	フロン表面より1cmの距離で測定した結果 (μSv/h) ※校正後			
					125	検入日	除去土壌等を仮置場に搬入した年月日 (yyyy/mm/ddまたはyyyymmdd)			
					126	備考	備考欄			
			5	詰替除去土壌等番号履歴情報	127	詰替元フレコンの破損の有無	詰め替え元のフレキシブルコンテナ等に付与されていない場合、「番号なし」 詰め替え元のフレキシブルコンテナに破損があったか否かを記入	11		
					128	詰替年月日	詰め替えなどを行った日			
					129	詰替方法	内容物を取り出して詰め替えもしくは内容物を取り出さず詰め替えを行ったかを識別	34		
					130	除去土壌等番号 (詰替後)	詰め替えた除去土壌等を一意に特定する番号	11		
					131	荷姿種別	詰め替えた除去土壌等の荷姿の種別 ※内袋を使用した際は、「2フレキシブルコンテナ耐水・耐酸性 (3年)」を選択すること	7		
					132	内袋の利用方法	詰め替えた除去土壌等の内袋の使用有無 内袋を使用している場合はその枚数等を識別	32		
					133	アルミ内袋の利用	フレキシブルコンテナの内袋の材質	33		
					134	備考	備考欄			
					135	詰替元フレコンの破損の有無	詰め替えた除去土壌等の荷姿の種別 詰め替えた除去土壌等の内袋の使用有無 詰め替えた除去土壌等の内袋の材質	34		
					136	詰替元フレコンの破損の有無	詰め替えた除去土壌等の荷姿の種別 詰め替えた除去土壌等の内袋の使用有無 詰め替えた除去土壌等の内袋の材質	34		
			6	仮置場定期モニタリング情報	137	測定番号	測定を一意に特定する番号。測定1回ごとに各受注者が任意に発番 (最大30桁)			
					138	測定年月日	測定年月日 (yyyy/mm/ddまたはyyyymmdd)			
					139	測定機器番号 (NaI)	測定に用いた機器 (NaIシンチレーション方式) の測定機器番号	10		
					140	バックグラウンド識別	バックグラウンド値の場合は「1」、フロン搬出後の測定値の場合は「2」を記入 定期的なモニタリングの場合は「空白 (Null)」			
					141	仮置場番号	測定地点の仮置場の番号	12		
					142	測定点番号 (仮置場)	測定地点を一意に特定する番号			
					143	入口フラグ	仮置場の入口線量を測定する際、仮置場の内側を向いて測定した場合は「1」、 仮置場の外側を向いて測定した場合は「2」を記入			
					144	測定緯度	世界測地系 (WGS-84) に基づき、測定地点の緯度を10進法で記入 小数点以下桁数は少なくとも5桁とする			
					145	測定経度	世界測地系 (WGS-84) に基づき、測定地点の経度を10進法で記入 小数点以下桁数は少なくとも5桁とする			
					146	測定地表面	測定した地点の地物情報を示す項目		22	
					147	地点状況	測定地点の乾燥状況		11	
					148	天気	測定時の天気		12	
					149	気温	測定時の気温 (°C)			
					150	空間線量率 (100cm)	地表面より100cm上空で測定した結果 (μSv/h) ※校正後			
			7	水調査情報	151	測定番号	測定を一意に特定する番号。測定1回ごとに各受注者が任意に発番 (最大30桁)			
					152	採取年月日	測定年月日 (yyyy/mm/ddまたはyyyymmdd)			
					153	仮置場番号	測定地点の仮置場の番号	12		
					154	測定点番号	測定地点を一意に特定する番号			
					155	調査区分	調査対象として該当する「1 浸出水」「2 地下水」「3 処理水」のいずれかを入力		29	
					156	測定緯度	世界測地系 (WGS-84) に基づき、測定地点の緯度を10進法で記入 小数点以下桁数は少なくとも5桁とする			
157	測定経度	世界測地系 (WGS-84) に基づき、測定地点の経度を10進法で記入 小数点以下桁数は少なくとも5桁とする								
158	濃度	検出された濃度を入力								
159	測定値 (Cs-134)	セシウム134の濃度測定値 (Bq/L) を入力 ※不検出の場合は「ND」を入力								
160	測定値 (Cs-137)	セシウム137の濃度測定値 (Bq/L) を入力 ※不検出の場合は「ND」を入力								
161	検出下限値 (Cs-134)	セシウム134の検出下限値を入力								
162	検出下限値 (Cs-137)	セシウム137の検出下限値を入力								
163	備考	備考欄								

閾値	校正定数
A 21	1.03
B 5	1.02
C 0.5	1.00

別添4) 発番規則一覧

**別添4) 発番規則一覧**

・別添3に示す情報項目のうち、「発番規則」に数字の記載があるものについては、以下表の発番規則に従うこと

No	情報項目名	項目概要	発番規則	例
4	管理番号	除染計画書毎に発番される土地を特定する番号	【道路・森林以外の管理番号】 「大字(3桁)+小字(4桁)+地番(文字列)」 【道路・森林の管理番号】 受注者が発番している場合:受注者の発番した管理番号を利用 受注者が発番していない場合:環境省が発番	50050917-8
10	測定機器番号	測定に用いた機器の測定機器番号	「c」+事業者番号*+「i」+「受注者が任意に発番(3桁)」	c999i007
11	除去土壌等番号	除去土壌等を一意に特定する番号	「f」+事業者番号*+「受注者が任意に発番(7桁)」	f9990045678
12	仮置場番号	仮置場を一意に特定する番号	「m」+市町村番号+「d」+「受注者が任意に発番(3桁)」	m211d110

\*受注決定後に通知

別添5) コード表

・別添3に示す情報項目のうち、「コード」に数字の記載があるものについては、以下表の選択肢の値を入力すること

No	選択項目名	選択肢	備考
2	除染前後識別	1 除染前 2 除染後	
6	除去土壌等種別	1 草木類 (剪定枝、落葉、芝、苔、雑草、リター層、伐採木、抜根等) 2 1以外の可燃廃棄物 (タイベックス、ウエス、マスク、フィルタ、ゴム手袋、紙類等) 3 土壌等 (土類、小石、砂利等) 4 コンクリート殻等 (瓦、レンガ、ブロック、岩石等) 5 アスファルト混合物 6 3、4、5以外の不燃物・混合物 (危険物・有害物を除く) 7 石綿含有建材 8 石膏ボード 9 7、8以外の危険物・有害物	
7	荷姿種別	1 フレキシブルコンテナ耐候性(3年) 2 フレキシブルコンテナ耐水・耐候性(3年) 3 その他フレキシブルコンテナ 4 その他	
11	地点状況	1 乾 2 湿	
12	天気	1 晴れ 2 曇り 3 雨 4 雪	
14	コリメータの有無	1 有り 2 無し	
22	測定地表面	1 アスファルト・コンクリート 2 タイル・ブロック・レンガ 3 土 4 草・芝 5 砂利 6 植栽の根元 7 その他	
26	測定対象 (大分類)	1 住宅地等 2 学校 3 公園 4 大型施設 5 道路 6 草地、芝地 7 農地 8 果樹園 9 果樹園 10 森林	

No	選択項目名	選択肢	備考
27	測定対象 (中分類)	1 建物 2 塀 3 遊具等 4 舗装面 5 未舗装面 6 ガードレール 7 側溝等 8 歩道橋 9 水田 10 畑 11 牧草地 12 水路 13 畦畔 14 灌木林 15 常緑樹林 16 落葉樹林 17 雑木林 18 墓地	
28	特定地点情報	1 側溝 2 排水枡 3 雨だれの跡 4 くぼち 5 舗装面の境目 6 常緑樹・竹・笹・植栽 7 上記以外	
29	調査区分	1 浸出水 2 地下水 3 処理水	
30	斜面情報	1 斜面の頂部 2 斜面 3 斜面の底部	
31	発生土地分類	1 住宅地等 2 学校 3 公園 4 大型施設 5 道路 6 法面・斜面 7 草地、芝地 8 農地 9 果樹園 10 森林 11 仮置場	
32	内袋の利用方法	1 内袋なし 2 1重内袋 3 2重内袋 (内袋をあらかじめ2重にした後に内容物を格納) 4 2重内袋 (1重の内袋に内容物を格納した後に2重化)	内袋をあらかじめ2重にした後に内容物を格納した場合に選択 1重の内袋に内容物を格納した後にさらに2重化した場合に選択
33	アルミ内袋の利用	1 アルミ内袋利用あり 2 アルミ内袋利用なし	
34	詰替元フレコンの破損の有無	1 破損なし 2 破損あり	
35	詰替方法	1 フレコンごと詰替 2 内容物のみ詰替 3 タグのみ付与 (詰替なし)	既に設置されているフレキシブルコンテナ等の内容物を取り出さずに、新たなフレキシブルコンテナに詰込んだ場合に選択 既に設置されているフレキシブルコンテナ等の内容物を取り出して、新たなフレキシブルコンテナに詰替した場合に選択 QRタグ以外のタグが付いているフレキシブルコンテナ等(主に先行除染、モデル除染で発生したものを想定)に詰替を行わずQRタグを取り付ける際に選択
40	避難指示区域分類	1 避難指示解除準備区域 2 居住制限区域 3 帰還困難区域 4 区域外	

平成30年度(平成29年度繰越)檜葉町仮置場復旧等工事 数量総括表

工事区分・工種・種別1,2,3・細別	規格	単位	数量
仮置場復旧等工事			
除染			
8 農地		式	1
8.1 水田		式	1
8.1.2 土壌		式	1
8.1.2.2-(1)-③ 土のう袋への袋詰め		袋	4,050
8.1.2.2-(1)-④ 小運搬		袋	4,050
8.1.2.4-(3) 基盤整地		m2	60,500
整地工及び簡易整備工 基板整地工(表土整地) ブル超湿地13t 普通		ha	6.1
8.1.2.5 深耕		m2	60,500
8.1.2.7-(1) 地力回復(土壌改良剤の散布)		m2	60,500
8.1.2.7-(2) 地力回復(ゼオライト散布)		m2	60,500
8.1.7 石礫除去		式	1
8.1.7.1-(1) 石礫除去(人力)	10a当り除去量:4m3未満	m2	6,050
8.1.7.1-(2) 石礫除去(機械)	粘性土 普通	m3	1,820
8.1.7.1-(3) 土のう袋への袋詰め		袋	406
暗渠排水工		式	1
バックホー暗渠排水工(掘削)	掘削深(0.6m)	m	1,300
バックホー埋戻し(暗渠)	断面積0.413m2	m	1,300
暗渠排水管(定尺管)人力小運搬	運搬距離50m以下	m	1,300
被覆材(砕石)投入	粒径20～5mm	m3	130
暗渠排水管布設	暗渠排水管(定尺管)φ100mm	m	1,300
8.4 水路(沈砂池)		式	1
8.4.1 水路		式	1
8.4.1.1-(1) 底質の除去等(土砂上げ)		m3	21
8.4.1.1-(2) 底質の除去等(袋詰め)		袋	9
8.4.1.1-(3) 小運搬		袋	9
8.5 畦畔		式	1



工事区分・工種・種別1,2,3・細別	規格	単位	数量
8.5.1 畦畔		式	1
8.5.1.3 畦畔復旧		m	3,030
仮置場			
仮置場の原状回復		式	1
仮置場の原状回復		式	1
ブルドーザ敷均し締固め	路体・築堤 普通15t級 標準 岩無	m3	2,940
13.1.1.6 整地		m2	48,700
13.1.1.1 保管場所地下水調査 撤去	土質(砂・砂質土) 削孔深度10m	箇所	6
鉄筋コンクリートリウム機械撤去	材料規格呼称250	m	460
13.1.1.20 温度計の撤去		箇所	96
押さえ土のうの撤去	作業半径6超20m以下	袋	637
地先ブロックの撤去		本	7,720
側面の遮へい土のうの撤去	作業半径6超20m以下	袋	4,217
上面の遮へい土のうの撤去	作業半径6超20m以下	袋	9,210
大型土のう工 破袋	作業半径6超20m以下	袋	13,400
バックホ掘削積込	クロー型山積0.8m3(平積0.6m3) ルーズ 粘質土・砂・砂質土・粘性	m3	24,100
ブルドーザ集積(ルーズ)	21t級 標準	m3	24,100
保管物の撤去	作業半径6超20m以下	袋	200
13.2.3.1-(2) 保管物(不燃物)の詰込		袋	200
13.1.1.14 保管物取込・設置		袋	200
保護層(集水補助層)の撤去		m2	49,100
13.2.2.1-(1) 下部シートの撤去	遮水シート	m2	62,800
13.2.2.1-(2) 下部シートの撤去	保護マット	m2	125,600
砂利、碎石の撤去		m3	8,220
山砂の撤去		m3	6,390
山土の撤去		m3	13,800
浸出水集排水溝、集排水管の撤去		m	5,730
浸出水集水設備の撤去		箇所	55
門扉の撤去		箇所	9

工事区分・工種・種別1,2,3・細別	規格	単位	数量
場内道路碎石の撤去		m2	8,220
土木安定シート・ネット 撤去	シート	m2	76,500
ダンプトラック運搬(遮へい土)	バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 49.5以下 良好	m3	6,640
ダンプトラック運搬	バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 9.5以下 良好	m3	14,500
ダンプトラック運搬	バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 6.5以下 良好	m3	438
ダンプトラック運搬	バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 3.0以下 良好	m3	2,500
16.1.1.1 クレーン付トラックによる除去土壌等(遮へい土のう)の運搬	(L=0.1km)	m3	6,530
13.1.1.18-① 付帯設備(柵)の撤去		m	2,590
13.1.1.18-② 付帯設備(掲示板)の撤去		枚	4
13.1.1.18-④ 付帯設備(消火器)の撤去		セット	4
舗装版破碎バックホウ直接掘削・積込	t≤10cm	m2	332
ダンプ 運搬 舗装版BH0.45m3直接積込	片道6.5km以下 DID無 As塊	m3	17
構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 10m3以上 制約無 夜間無 対策不要	m3	16
バックホウCo・As殻積込	クロー型・山積0.8m3(平積0.6m3)	m3	16
ダンプトラック(10t積級)運搬(Co殻)	バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 無筋コンクリート DID無 6.5以下 良	m3	16
コンテナ車(10 t 25m3/回) L=25 km		回	50
処分費(アスファルト殻)		m3	17
処分費(コンクリート殻)		m3	16
処分費(廃プラスチック)		m3	1,300
除染			
15 排水処理		式	1
15.1 排水処理		式	1
15.1.1 排水処理		式	1
15.1.1.1 排水の処理(沈殿処理)		m3	2,000
15.1.1.2 沈殿土壌の袋詰め		袋	20
16 除去土壌等の運搬		式	1
16.1 除去土壌等の運搬		式	1
16.1.2 タグの取付け		式	1
16.1.2.1 タグの取付け		袋	4,500

工事区分・工種・種別1,2,3・細別	規格	単位	数量
仮設			
18 仮設等		式	1
18.4 敷鉄板設置・撤去		式	1
18.4.1 敷鉄板設置・撤去		式	1
18.4.1.1 敷鉄板設置・撤去	22*1524*3048 供 用100日	m2	270
18.7.2 締切排水		式	1
18.7.2.1-(1) ポンプ運転		日	7
18.7.2.1-(2) ポンプ据付・撤去		箇所	2
除染			
材料費		式	1
耐候性大型土のう	2t用 径110×高110cm 丸型 長期仮設(3年)対応	枚	4,500
耐候性大型土のう袋	径130cm 一重内袋付き	袋	20
安全費		式	1
交通誘導警備員B		人	352
共通仮設費			
19 防護具等		式	1
19.1 防護具等		式	1
19.1.1 防護具等		式	1
19.1.1.1-(1) 防護具A		組	8,000
19.1.1.3 除染電離則に係る安全講習費		人	2
19.1.1.4 健康診断費		人	700
19.1.1.5 セルフスクリーニング費		人	50
19.1.1.6 放射線管理に要する費用		人	50
20 放射線量測定		式	1
20.1 除染等の措置時の放射線量測定		式	1
20.1.2 除染等の措置時の放射線量測定		式	1
20.1.2.2-① 事前測定(測定点設置)		測点	10
20.1.2.2-② 事前測定(外業)		測点	10
20.1.2.2-③ 事前測定(データ整理)		測点	10

工事区分・工種・種別1,2,3・細別	規格	単位	数量
20.1.2.2-④ 事前測定(外業)		測点	10
20.1.2.2-⑤ 事前測定(データ整理)		測点	10
20.1.2.3-① 事後測定(外業)		測点	10
20.1.2.3-② 事後測定(データ整理)		測点	10
20.1.2.3-③ 事後測定(外業)		測点	10
20.1.2.3-④ 事後測定(データ整理)		測点	10
20.1.2.5-① 局所的に線量の高い箇所の調査		画地	4
20.1.2.5-② 局所的に線量の高い箇所の調査に係るデータの整理作業		画地	4
20.1.3 仮置場の放射線量測定		式	1
20.1.3.3-① 事後測定(外業)		測点	52
20.1.3.3-② 事後測定(データ整理)		測点	52
20.1.4 地下水及び浸出水調査		式	1
20.1.4.1 地下水の放射能濃度の測定		検体	276
20.1.4.2 浸出水の放射能濃度の測定		検体	480
20.1.6 土壌のサンプリング		式	1
20.1.6.1 土壌のサンプリング		箇所	50
20.1.7 GM管による表面汚染密度測定		式	1
20.1.7.1 GM管による表面汚染密度測定		箇所	100
諸経緯費対象外			
諸経費対象外項目		式	1
21.1.1.1 施工内容等の説明及び確認に要する費用		人	1
21.1.1.2 除染結果の報告に要する費用		人	1
被ばく線量登録管理制度参加費		人	10

## 本工事費内訳書

平成30年度（平成29年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
暫定積算基準・直接工事費	式	1			
8 農地	式	1			
8.1 水田	式	1			
8.1.2 土壌	式	1			
8.1.2.2-(1)-③ 土のう袋への袋詰め	袋	4,050			
8.1.2.2-(1)-④ 小運搬	袋	4,050			
8.1.2.4-(3) 基盤整地	m2	60,500			
整地工及び簡易整備工 基盤整地工(表土整地)ﾌﾙ超湿地13t 普通	ha	6.100			
8.1.2.5 深耕	m2	60,500			
8.1.2.7-(1) 地力回復(土壌改良剤の散布)	m2	60,500			
8.1.2.7-(2) 地力回復(ゼオライト散布)	m2	60,500			
8.1.7 石礫除去	式	1			
8.1.7.1-(1) 石礫除去(人力) 10a当り除去量:4m3未満	m2	6,050			
8.1.7.1-(2) 石礫除去(機械) 粘性土 普通	m3	1,820			

## 本工事費内訳書

平成30年度（平成29年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
8.1.7.1-(3) 土のう袋への袋詰め	袋	406			
暗渠排水工	式	1			
バックホ暗渠排水工(掘削) 掘削深0.6m	m	1,300			
バックホ埋戻し(暗渠) 断面積0.413m <sup>2</sup>	m	1,300			
暗渠排水管(定尺管)人力小運搬 運搬距離50m以下	m	1,300			
被覆材(碎石)投入 粒径20~5mm	m <sup>3</sup>	130			
暗渠排水管布設 暗渠排水管(定尺管)φ100mm	m	1,300			
8.4 水路(沈砂池)	式	1			
8.4.1 水路	式	1			
8.4.1.1-(1) 底質の除去等(土砂上げ)	m <sup>3</sup>	21			
8.4.1.1-(2) 底質の除去等(袋詰め)	袋	9			
8.4.1.1-(3) 小運搬	袋	9			
8.5 畦畔	式	1			
8.5.1 畦畔	式	1			

## 本工事費内訳書

平成30年度（平成29年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
8.5.1.3 畦畔復旧	m	3,030			
仮置場の原状回復	式	1			
仮置場の原状回復	式	1			
ブルドーザ敷均し締固め 路体・築堤 普通15t級 標準 岩無	m <sup>3</sup>	2,940			
13.1.1.6 整地	m <sup>2</sup>	48,700			
13.1.1.1 保管場所地下水調査 撤去 土質（砂・砂質土） 削孔深度 10m	箇所	6			
鉄筋コンクリートフォーム機械撤去 材料規格呼称250	m	460			
13.1.1.20 温度計の撤去	箇所	96			
押さえ土のうの撤去 作業半径6超20m以下	袋	637			
地先ブロックの撤去	本	7,720			
側面の遮へい土のうの撤去 作業半径6超20m以下	袋	4,217			
上面の遮へい土のうの撤去 作業半径6超20m以下	袋	9,210			
大型土のう工 破袋 作業半径6超20m以下	袋	13,400			
バックホ掘削積込 クロー型山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) ルーズ レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m <sup>3</sup>	24,100			

## 本工事費内訳書

平成30年度（平成29年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ブルドーザ集積(ルーズ) 21t級 標準	m3	24,100			
保管物の撤去 作業半径6超20m以下	袋	200			
13.2.3.1-(2) 保管物(不燃物)の詰込	袋	200			
13.1.1.14 保管物取込・設置	袋	200			
保護層(集水補助層)の撤去	m2	49,100			
13.2.2.1-(1) 下部シートの撤去 遮水シート	m2	62,800			
13.2.2.1-(2) 下部シートの撤去 保護マット	m2	125,600			
砂利、碎石の撤去	m3	8,220			
山砂の撤去	m3	6,390			
山土の撤去	m3	13,800			
浸出水集排水溝、集排水管の撤去	m	5,730			
浸出水集水設備の撤去	箇所	55			
門扉の撤去	箇所	9			
場内道路碎石の撤去	m2	8,220			



## 本工事費内訳書

平成30年度（平成29年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木安定シート・ネット 撤去 シート	m2	76,500			
ダンプトラック運搬(遮へい土) バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 49.5以下 良好	m3	6,640			
ダンプトラック運搬 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 9.5以下 良好	m3	14,500			
ダンプトラック運搬 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 6.5以下 良好	m3	438			
ダンプトラック運搬 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 3.0以下 良好	m3	2,500			
16.1.1.1 クレーン付トラックによる除去土壌等(遮へい土のう)の運搬 (L=0.1km)	m3	6,530			
13.1.1.18-① 付帯設備(柵)の撤去	m	2,590			
13.1.1.18-② 付帯設備(掲示板)の撤去	枚	4			
13.1.1.18-④ 付帯設備(消火器)の撤去	セット	4			
舗装版破碎 バックホウ直接掘削・積込 t ≤ 10cm	m2	332			
ダンプ運搬 舗装版BH0.45m3直接積込 片道6.5km以下 DID無 As塊	m3	17			
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 10m3以上 制約無 夜間無 対策不要	m3	16			
バックホウCo・As殻積込 クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)	m3	16			
ダンプトラック(10t積級)運搬(Co殻) バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 無筋コンクリート DID無 6.5以下 良好	m3	16			

## 本工事費内訳書

平成30年度（平成29年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンテナ車(10 t 25m3/回) L=25 km	回	50			
処分費(アスファルト殻)	m3	17			
処分費(コンクリート殻)	m3	16			
処分費(廃プラスチック)	m3	1,300			
15 排水処理	式	1			
15.1 排水処理	式	1			
15.1.1 排水処理	式	1			
15.1.1.1 排水の処理(沈殿処理)	m3	2,000			
15.1.1.2 沈殿土壌の袋詰め	袋	20			
16 除去土壌等の運搬	式	1			
16.1 除去土壌等の運搬	式	1			
16.1.2 タグの取付け	式	1			
16.1.2.1 タグの取付け	袋	4,500			
18 仮設等	式	1			

## 本工事費内訳書

平成30年度（平成29年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
18.4 敷鉄板設置・撤去	式	1			
18.4.1 敷鉄板設置・撤去	式	1			
18.4.1.1 敷鉄板設置・撤去 22*1524*3048 供用100日	m2	270			
18.7.2 締切排水	式	1			
18.7.2.1-(1) ポンプ運転	日	7			
18.7.2.1-(2) ポンプ据付・撤去	箇所	2			
材料費	式	1			
耐候性大型土のう 2t用 径110×高110cm 丸型 長期仮設(3年)対応	枚	4,500			
耐候性大型土のう袋 径130cm 一重内袋付き	袋	20			
安全費	式	1			
交通誘導警備員B	人	352			
直接工事費	式	1			
共通仮設費	式	1			
共通仮設費	式	1			

## 本工事費内訳書

平成30年度（平成29年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
安全費	式	1			
技術管理費	式	1			
共通仮設費(率計上)	式	1			
純工事費	式	1			
現場管理費	式	1			
工事原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
諸経費対象外	式	1			
工事価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
工事費計	式	1			

# 内訳書

( 1号内訳書 )

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
19 防護具等	式	1				
19.1 防護具等	式	1				
19.1.1 防護具等	式	1				
19.1.1.1(1) 防護具A	組	8,000				
19.1.1.3 除染電離則に係る安全講習費	人	2				
19.1.1.4 健康診断費	人	700				
19.1.1.5 セルフスクリーニング費	人	50				
19.1.1.6 放射線管理に要する費用	人	50				
計						

# 内訳書

( 2号内訳書 )

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
20 放射線量測定	式	1				
20.1 除染等の措置時の放射線量測定	式	1				
20.1.2 除染等の措置時の放射線量測定	式	1				
20.1.2.2-① 事前測定(測定点設置)	測点	10				
20.1.2.2-② 事前測定(外業)	測点	10				
20.1.2.2-③ 事前測定(データ整理)	測点	10				
20.1.2.2-④ 事前測定(外業)	測点	10				
20.1.2.2-⑤ 事前測定(データ整理)	測点	10				
20.1.2.3-① 事後測定(外業)	測点	10				
20.1.2.3-② 事後測定(データ整理)	測点	10				
20.1.2.3-③ 事後測定(外業)	測点	10				
20.1.2.3-④ 事後測定(データ整理)	測点	10				
20.1.2.5-① 局所的に線量の高い箇所の計	画地	4				
20.1.2.5-② 局所的に線量の高い箇所の計	画地	4				

# 内訳書

( 2号内訳書 )

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
20.1.3 仮置場の放射線量測定	式	1				
20.1.3.3-① 事後測定(外業)	測点	52				
20.1.3.3-② 事後測定(データ整理)	測点	52				
20.1.4 地下水及び浸出水調査	式	1				
20.1.4.1 地下水の放射能濃度の測定	検体	276				
20.1.4.2 浸出水の放射能濃度の測定	検体	480				
20.1.6 土壌のサンプリング	式	1				
20.1.6.1 土壌のサンプリング	箇所	50				
20.1.7 GM管による表面汚染密度測定	式	1				
20.1.7.1 GM管による表面汚染密度測定	箇所	100				
計						





8.1.2.2-(1)-③ 土のう袋への袋詰め

## 代価表

( 1号代価表 )

10袋当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.060				
特殊除染作業員	人	0.210				
普通除染作業員	人	0.240				
運転手(除染特殊)	人	0.230				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	時間	1.420				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	16				
諸雑費	%	1.400				
計						
1袋当り						

8.1.2.2-(1)-④ 小運搬

# 代価表

( 2号代価表 )

10袋当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.060				
特殊除染作業員	人	0.230				
運転手(除染特殊)	人	0.440				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2 m <sup>3</sup> )クレーン1.7t吊	時間	1.300				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )クレーン2.9t吊	時間	0.280				
不整地運搬車[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・ダンプ式・積載4~5t	日	0.180				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	31.500				
計						
1袋当り						

8.1.2.4-(3) 基盤整地

# 代価表

( 3号代価表 )

1,000 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.150				
運転手(除染特殊)	人	0.040				
農用トラクタ 乗用クローラ型・67~88kW級(90~120Ps)	時間	0.220				
ディスクハロー けん引式・オフセット20インチ*32枚	日	0.030				
レーザーレベラ 直装式・整地幅5m	時間	0.220				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	3.300				
計						
1 m2 当り						





8.1.2.7-(1) 地力回復(土壌改良剤の散布)

# 代価表

( 6号代価表 )

10,000 m<sup>2</sup>当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.200				
普通除染作業員	人	0.770				
運転手(除染特殊)	人	0.170				
建設用トラック 普通 9t	時間	1.100				
ライムソウ けん引式・容量800L・作業幅3.0m級	時間	1.100				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	13				
土壌改良剤 ケイ酸加里	t	0.800				
熔リン	t	0.400				
計						
1 m <sup>2</sup> 当り						

8.1.2.7-(2) 地力回復(ゼオライト散布)

# 代価表

( 7号代価表 )

1,000 m<sup>2</sup>当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.150				
特殊除染作業員	人	0.090				
農用トラクタ 乗用クローラ型・30~44kW級(40~60Ps)	時間	0.560				
ライムソー PTO駆動・作業幅1.6~1.8m級	日	0.100				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	4.300				
イズカライト 1.0~3.0mm品 20kg	t	1				
計						
1 m <sup>2</sup> 当り						







# 代価表

8.1.7.1-(3) 土のう袋への袋詰め

( 10号代価表 )

10袋当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.060				
特殊除染作業員	人	0.210				
普通除染作業員	人	0.240				
運転手(除染特殊)	人	0.230				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	時間	1.420				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	16				
諸雑費	%	1.400				
計						
1袋当り						

















# 代価表

( 18号代価表 )

10袋当り

8.4.1.1-(3) 小運搬

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.060				
特殊除染作業員	人	0.230				
運転手(除染特殊)	人	0.440				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2 m <sup>3</sup> )クレーン1.7t吊	時間	1.300				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )クレーン2.9t吊	時間	0.280				
不整地運搬車[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・ダンプ式・積載4~5t	日	0.180				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	31.500				
計						
1袋当り						

8.5.1.3 畦畔復旧

# 代価表

( 19号代価表 )

100 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
普通除染作業員	人	2				
運転手(除染特殊)	人	1,200				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.8 m <sup>3</sup> (平積0.6 m <sup>3</sup> )	供用日	1,900				
不整地運搬車[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・ダンプ式・積載8~11t	供用日	0,060				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	134,700				
計						
1 m 当り						



13.1.1.6 整地

## 代価表

( 21号代価表 )

1,000 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.220				
普通除染作業員	人	0.600				
運転手(除染特殊)	人	0.840				
ブルドーザ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	供用日	1.470				
軽油 小型ローリー・ハートル給油 2~4KL積載車	L	75.600				
計						
1 m2 当り						

13.1.1.1 保管場所地下水調査 撤去  
土質(砂・砂質土) 削孔深度 10m

## 代価表

( 22号代価表 )

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.240				
特殊除染作業員	人	0.080				
普通除染作業員	人	0.080				
作業指揮者	人	0.015				
特殊除染作業員	人	0.055				
普通除染作業員	人	0.050				
作業指揮者	人	0.180				
特殊除染作業員	人	0.600				
普通除染作業員	人	0.600				
計						
1箇所当り						





























13.2.3.1-(2) 保管物(不燃物)の詰込

## 代価表

( 35号代価表 )

70袋当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.550				
特殊除染作業員	人	0.690				
普通除染作業員	人	3				
運転手(除染特殊)	人	1				
バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.8 m <sup>3</sup> (平積0.6 m <sup>3</sup> )クレーン2.9t吊	時間	7.500				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	135				
諸雑費	%	1.400				
計						
1袋当り						



# 代価表

( 37号代価表 )

130 m2当り

保護層(集水補助層)の撤去

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.100				
普通除染作業員	人	0.400				
運転手(除染特殊)	人	0.200				
バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.28m3(平積0.2 m3)	供用日	0.350				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	9				
計						
1 m2 当り						















浸出水集排水溝、集排水管の撤去

## 代価表

( 44号代価表 )

100 m当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.200				
普通除染作業員	人	1.300				
運転手(除染特殊)	人	0.230				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	時間	1.450				
軽油 小型ローリー・ハトール給油 2~4KL積載車	L	16				
計						
1 m 当り						

# 代価表

( 45号代価表 )

1箇所当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.300				
普通除染作業員	人	1.500				
運転手(除染特殊)	人	0.500				
バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.8 m <sup>3</sup> (平積0.6 m <sup>3</sup> )	供用日	0.800				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	57.100				
計						
1 箇所 当 り						

















# 代価表

ダンプトラック運搬  
バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 6.5以下 良好

( 53号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 良好 オンロード・デイスブル・積載質量10t積級	日	2.100				
計						
1 m3 当り						

# 代価表

ダンプトラック運搬  
バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 DID無 3.0以下 良好

( 54号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 良好 オンロード・デイクセル・積載質量10t積級	日	1.300				
計						
1 m3 当り						

16.1.1.1 クレーン付トラックによる除去土壌等(遮へい土のう)の運搬  
(L=0.1km)

## 代価表

( 55号代価表 )

2 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.030				
普通除染作業員	人	0.170				
運転手(除染特殊)	人	0.150				
トラック クレーン装置付・積載質量 4t積・2.9t吊	時間	0.910				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	6				
計						
1 m3 当り						

# 代価表

16.1.1.1 クレーン付トラックによる除去土壌等(端部処理大型土のう)  
(L=0.2km)

( 56号代価表 )

2 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.030				
普通除染作業員	人	0.170				
運転手(除染特殊)	人	0.150				
トラック クレーン装置付・積載質量 4t積・2.9t吊	時間	0.910				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	6				
計						
1 m3 当り						



13. 1. 1. 18-① 付帯設備(柵)の撤去

代価表

( 57号代価表 )

100 m当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	2,100				
特殊除染作業員	人	6,650				
普通除染作業員	人	7,500				
計						
1 m 当り						

13.1.1.18-② 付帯設備(揭示板)の撤去

## 代価表

( 58号代価表 )

1枚当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通除染作業員	人	0.175				
計						
1枚当り						

13. 1. 1. 18-③ 付帯設備(看板)の設置

# 代価表

( 59号代価表 )

1枚当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通除染作業員	人	0.350				
看板 400mm(H)*700mm(B) マグネット対応ホ	枚	1				
計						
1枚当り						

13.1.1.18-④ 付帯設備(消火器)の撤去

代価表

( 60号代価表 )

1セット当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通除染作業員	人	0.175				
計						
1セット当り						

# 代価表

舗装版破碎 バックホ直接掘削・積込  
t ≤ 10cm

( 61号代価表 )

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.123				
普通除染作業員	人	0.247				
バックホ(賃料) バケット容量・山積0.45(平積0.35)m3	日	0.123				
計						
1 m2 当り						

ダンプ運搬 舗装版BH0.45m3直接積込  
 片道6.5km以下 DID無 As塊

# 代価表

( 62号代価表 )

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ダンプトラック 良好 オンロード・ティエール・積載質量10t積級	日	4.940				
計						
1 m3 当り						

# 代価表

構造物とりこわし  
無筋構造物 機械施工 10m3以上 制約無 夜間無 対策不要

( 63号代価表 )

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
構造物とりこわし工[手間のみ] 無筋構造物 機械施工 積込含む	m3	1				
計						
1 m3 当り						

# 代価表

バックホコ・As殻積込  
クローラ型・山積0.8m<sup>3</sup>(平積0.6m<sup>3</sup>)

( 64号代価表 )

10 m<sup>3</sup>当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
バックホ(排対1次) クローラ型・山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日	0.038				
普通除染作業員	人	0.400				
計						
1 m <sup>3</sup> 当り						



# 代価表

ダンプトラック(10t積級)運搬(Co殻)  
バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 無筋コンクリート DID無 6.5以下 良好 ( 65号代価表 )

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ダンプトラック 良好 オンロード・ディゼル・積載質量10t積級	日	2.730				
計						
1 m3 当り						

コンテナ車(10 t 25m3/回) L=25 km

# 代価表

( 66号代価表 )

1 回 当 り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
コンテナ車 (10 t 25m3/回)	回	1				
計						
1 回 当 り						

## 代価表

処分費(アスファルト殻)

( 67号代価表 )

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
処分費	m3	1				
計						
1 m3 当り						

処分費(コンクリート殻)

# 代価表

( 68号代価表 )

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
処分費	m3	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

( 69号代価表 )

1 m3当り

処分費(廃プラスチック)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
処分費	m3	1				
計						
1 m3 当り						

# 代価表

( 70号代価表 )

100 m3当り

## 15.1.1.1 排水の処理(沈殿処理)

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.130				
特殊除染作業員	人	1.900				
普通除染作業員	人	0.590				
発動発電機[排出ガス対策型(第1次基準値)] ディーゼルエンジン駆動・定格容量37/45kVA	日	2.530				
工事用水中モータポンプ(普通型(潜水ポンプ)) 口径 50mm・全揚程15m	日	2.530				
【H29】濁水処理装置 ポータブル型・機械処理脱水・20m3/h	日	1.970				
水槽(一般工事用) 鋼板製簡易水槽・容量20m3	供用日	10				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	126				
高分子凝集剤 土木用 アニオン・ノニオン系 紙袋	kg	1.040				
計						
1 m3 当り						

# 代価表

( 71号代価表 )

10袋当り

15.1.1.2 沈殿土壌の袋詰め

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.160				
特殊除染作業員	人	1.760				
普通除染作業員	人	1.760				
運転手(除染特殊)	人	1.900				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )クレーン2.9t吊	時間	11.530				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	127				
諸雑費	%	1.600				
計						
1袋当り						

# 代価表

16.1.1.1 クレーン付トラックによる除去土壌等(遮へい土のう)の運搬  
(L=0.1km)

( 72号代価表 )

2 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.030				
普通除染作業員	人	0.170				
運転手(除染特殊)	人	0.150				
トラック クレーン装置付・積載質量 4t積・2.9t吊	時間	0.910				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	6				
計						
1 m3 当り						



# 代価表

( 73号代価表 )

160 袋当り

16.1.2.1 タグの取付け

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊除染作業員	人	3				
諸雑費	%	10				
計						
1 袋 当 り						

18.4.1.1 敷鉄板設置・撤去  
22\*1524\*3048 供用100日

## 代価表

( 74号代価表 )

1,000 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.960				
特殊除染作業員	人	2.100				
普通除染作業員	人	4.300				
トラッククレーン(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ハンドレタ付 日極	台/日	2.500				
鋼板(賃貸)180日以内 22*1524*3048	枚/日	21,500				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*3048	枚	215				
計						
1 m2 当り						

18.7.2.1-(1) ポンプ運転

## 代価表

( 75号代価表 )

1日当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊除染作業員	人	0.170				
発動発電機 ガソリンエンジン駆動・定格容量2kVA	日	1.100				
レギュラーガソリン スタンド	L	28				
諸雑費	%	8				
計						
1日当り						

18.7.2.1-(2) ポンプ据付・撤去

## 代価表

( 76号代価表 )

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.300				
普通除染作業員	人	0.500				
計						
1箇所当り						

# 代価表

( 77号代価表 )

耐候性大型土のう袋  
径130cm 一重内袋付き

1袋当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
耐候性大型土のう 径130×高110cm 丸型 長期仮設対応3年型	枚	1				
計						
1袋当り						

## 代価表

( 78号代価表 )

1組当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
防塵マスク 使い捨てタイプ 粒子捕集効率80.0%	個	1				
個人線量計	日	1				
計						
1組当り						

# 代価表

19.1.1.3 除染電離則に係る安全講習費

( 79号代価表 )

1人当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員(安全講習)	人	1				
計						
1人当り						

19.1.1.4 健康診断費

# 代価表

( 80号代価表 )

1人当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
電離放射線健康診断	回	0.008				
一般健康診断追加分	回	0.004				
計						
1人当り						



## 代価表

19.1.1.5 セルフスクリーニング費

( 81号代価表 )

100人当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.120				
特殊除染作業員	人	0.800				
GM管サーベイメータ	日	0.800				
計						
1人当り						

19.1.1.6 放射線管理に要する費用

### 代価表

( 82号代価表 )

1人当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	1				
計						
1人当り						

19.1.1.7 元方安全衛生管理者を補助する者に要する費用

代価表

( 83号代価表 )

1人当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	1				
計						
1人当り						

# 代価表

20.1.2.2-① 事前測定(測定点設置)

( 84号代価表 )

67 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.300				
特殊除染作業員	人	2				
諸雑費	%	9.500				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.2-② 事前測定(外業)

## 代価表

( 85号代価表 )

67 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.500				
特殊除染作業員	人	3.300				
NaIシンチレーション式サーベイメーター	運転日	1.700				
GM管サーベイメーター	運転日	1.700				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.2-③ 事前測定(データ整理)

# 代価表

( 86号代価表 )

67 測点当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者(内業)	人	0.050				
特殊除染作業員(内業)	人	0.300				
パソコン	運転日	0.500				
計						
1 測点 当り						

20. 1. 2. 2-④ 事前測定(外業)

## 代価表

( 87号代価表 )

100 測点当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	0.500				
特殊除染作業員	人	3.300				
NaIシンチレーション式サーベイメーター	運転日	1.700				
GM管サーベイメーター	運転日	1.700				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.2-⑤ 事前測定(データ整理)

## 代価表

( 88号代価表 )

100 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者(内業)	人	0.050				
特殊除染作業員(内業)	人	0.300				
パソコン	運転日	0.500				
計						
1 測点 当り						



20.1.2.3-① 事後測定(外業)

### 代価表

( 89号代価表 )

67 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.500				
特殊除染作業員	人	3.300				
NaIシンチレーション式サーベイメーター	運転日	1.700				
GM管サーベイメーター	運転日	1.700				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.3-② 事後測定(データ整理)

## 代価表

( 90号代価表 )

67 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者(内業)	人	0.050				
特殊除染作業員(内業)	人	0.300				
パソコン	運転日	0.500				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.3-③ 事後測定(外業)

## 代価表

( 91号代価表 )

100 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.500				
特殊除染作業員	人	3.300				
NaIシンチレーション式サーベイメーター	運転日	1.700				
GM管サーベイメーター	運転日	1.700				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.3-④ 事後測定(データ整理)

## 代価表

( 92号代価表 )

100 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者(内業)	人	0.050				
特殊除染作業員(内業)	人	0.300				
パソコン	運転日	0.500				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.5-① 局所的に線量の高い箇所の調査

# 代価表

( 93号代価表 )

7画地当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	1.010				
特殊除染作業員	人	2.570				
NaIシンチレーション式サーベイメーター	運転日	2.570				
計						
1画地当り						

## 代価表

20.1.2.5-② 局所的に線量の高い箇所の調査に係るデータの整理 ( 94号代価表 )

17 画地当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者(内業)	人	0.200				
特殊除染作業員(内業)	人	1				
パソコン	運転日	1				
計						
1 画 地 当 り						

20.1.3.1-① 事前測定(測定点設置)

代価表

( 95号代価表 )

67 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.300				
特殊除染作業員	人	2				
諸雑費	%	9.500				
計						
1 測点 当り						

20.1.3.1-② 事前測定(外業)

## 代価表

( 96号代価表 )

200 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.500				
特殊除染作業員	人	3.300				
NaIシンチレーション式サーベイメーター	運転日	1.700				
計						
1 測点 当り						













20.1.4.1 地下水の放射能濃度の測定

# 代価表

( 102号代価表 )

16 検体当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.150				
特殊除染作業員	人	1				
採水道具 ベーラ他	式	1				
検査分析費 ゲルマニウム半導体検出器 検出限界：5.0Bq/kg	検体	16				
ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名・排気量1.5L(ガソリン)	供用日	1.200				
レギュラーガソリン スタンド	L	9.500				
計						
1 検体 当り						

20.1.4.2 浸出水の放射能濃度の測定

# 代価表

( 103号代価表 )

8 検体当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.230				
特殊除染作業員	人	1.500				
採水道具 ベーラ他	式	1				
検査分析費 ゲルマニウム半導体検出器 検出限界：5.0Bq/kg	検体	8				
ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名・排気量1.5L(ガソリン)	供用日	0.600				
レギュラーガソリン スタンド	L	4.800				
計						
1 検体 当り						

20.1.5.1-① 除染電離則に係る汚染土壌等の放射能濃度測定

# 代価表

( 104号代価表 )

200 測点当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.500				
特殊除染作業員	人	3.300				
NaIシンチレーション式サーベイメーター	運転日	1.700				
諸雑費	%	3				
計						
1 測点 当り						



20.1.5.1-② 汚染土壌等の放射能濃度測定のためのデータ整理作業

# 代価表

( 105号代価表 )

200 測点当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者(内業)	人	0.050				
特殊除染作業員(内業)	人	0.300				
パソコン	運転日	0.500				
計						
1 測点 当り						

20.1.5.2-① 沈殿処理した水の放射能濃度測定 試料採取

## 代価表

( 106号代価表 )

8 検体当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.080				
特殊除染作業員	人	0.500				
ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名・排気量1.5L(ガソリン)	供用日	0.600				
レギュラーガソリン スタンド	L	4.800				
諸雑費	%	1				
計						
1 検体 当り						

20.1.5.2-② 沈殿処理した水の放射能濃度測定 濃度測定

代価表

( 107号代価表 )

8 検体当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者(内業)	人	0.150				
特殊除染作業員(内業)	人	1				
簡易検査用シンチレーション検出器	供用日	1				
計						
1 検体 当り						

20.1.6.1 土壌のサンプリング

# 代価表

( 108号代価表 )

1箇所当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者	人	0.250				
特殊除染作業員	人	0.250				
普通除染作業員	人	0.500				
諸雑費	%	5				
計						
1箇所当り						

20.1.7.1 GM管による表面汚染密度測定

# 代価表

( 109号代価表 )

40箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者	人	1				
特殊除染作業員	人	3				
GM管サーベイメーター	運転日	1				
計						
1箇所当り						

21.1.1.1 施工内容等の説明及び確認に要する費用

# 代価表

( 110号代価表 )

1人当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師・(内業)	人	0.030				
技師(A)・(内業)	人	0.030				
技師(C)・(内業)	人	0.030				
技師(A)・(外業)	人	0.040				
技師(C)・(外業)	人	0.040				
諸雑費	%	130				
計						
1人当り						

21.1.1.2 除染結果の報告に要する費用

## 代価表

( 111号代価表 )

1人当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師・(内業)	人	0.030				
技師(A)・(内業)	人	0.030				
技師(C)・(内業)	人	0.030				
主任技師・(外業)	人	0.090				
技師(A)・(外業)	人	0.090				
技師(B)・(外業)	人	0.090				
諸雑費	%	130				
計						
1人当り						

被ばく線量登録管理制度参加費

## 代価表

( 112号代価表 )

1人当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
被ばく線量登録管理制度参加費	人	1				
計						
1人当り						



# 単価表

( 1号単価表 )

1時間当り

ブルドーザ (未排対)  
超湿地13t

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊除染)	人	0.200				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	15				
ブルドーザ 超湿地13t	時間	1				
計						
1時間当り						

# 単価表

バックホウ(排対2次)  
クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)

( 2号単価表 )

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	36				
バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.28m3(平積0.2 m3)	供用日	1,500				
計						
1日当り						

## 単価表

バックホウ(排対2次)  
クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)

( 3号単価表 )

1日当たり

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	36				
バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.28m3(平積0.2 m3)	供用日	1,500				
計						
1 日 当 り						

# 単価表

( 4号単価表 )

1日当り

バックホウ(排対2次)  
クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	36				
バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.28m3(平積0.2 m3)	供用日	1,500				
計						
1日当り						

# 単価表

( 5号単価表 )

ブルドーザ(排対1次)  
普通15t級(13~16t)

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	112				
ブルドーザ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	供用日	1,550				
計						
1日当り						

# 単価表

( 6号単価表 )

1日当り

バックホウ(賃料)  
バケット容量・山積0.45(平積0.35)m<sup>3</sup>・吊能力2.9t

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	59				
バックホウ・クレーン付(賃貸)(長期割引あり) バケット容量・山積0.45(平積0.35)m <sup>3</sup> ・吊能力2.9t	台/日	1,430				
計						
1日当り						

# 単価表

( 7号単価表 )

バックホウ(排対2次)  
クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	108				
バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	供用日	1,460				
計						
1日当り						

ブルドーザ (排対1次)  
普通21t級 (24~26t)

# 単価表

( 8号単価表 )

1日当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	165				
ブルドーザ [排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通21t級 (24~26t)	供用日	1,550				
計						
1日当り						



# 単価表

バックホウ(排対1次)  
クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)

( 9号単価表 )

1日当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	58				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	供用日	1,380				
計						
1日当り						

# 単価表

( 10号単価表 )

1日当り

バックホウ(排対1次)  
クローラ型・山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトロール給油 2~4KL積載車	L	38				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.28m3(平積0.2 m3)	供用日	1,520				
計						
1日当り						

# 単価表

( 11号単価表 )

1日当り

ダンプトラック 良好  
オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染一般)	人	1				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	76				
ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	供用日	1	240			
タイヤ損耗費及び補修費(供用1日当り) ダンプトラック10t・良好	供用日	1	240			
計						
1日当り						

# 単価表

バックホウ(賃料)  
バックホウ容量・山積0.45(平積0.35)m3

( 12号単価表 )

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	72				
バックホウ・クローラ型(賃貸)(長期割引あり) バックホウ容量・山積0.45(平積0.35)m3	台/日	1,620				
計						
1日当り						

# 単価表

( 13号単価表 )

1日当り

ダンプトラック 良好  
オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染一般)	人	1				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	76				
ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	供用日	1	240			
タイヤ損耗費及び補修費(供用1日当り) ダンプトラック10t・良好	供用日	1	240			
計						
1日当り						

# 単価表

バックホウ(排対1次)  
クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)

( 14号単価表 )

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染特殊)	人	1				
軽油 小型ローリー・ハトル給油 2~4KL積載車	L	108				
バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	供用日	1,460				
計						
1日当り						

ダンプトラック 良好  
オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級

# 単価表

( 15号単価表 )

1日当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(除染一般)	人	1				
軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	L	76				
ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級	供用日	1	240			
タイヤ損耗費及び補修費(供用1日当り) ダンプトラック10t・良好	供用日	1	240			
計						
1日当り						

平成 30 年度（平成 29 年度繰越）檜葉町仮置場復旧等工事

現 場 説 明 事 項

福 島 地 方 環 境 事 務 所



## 第1章 共通

### 1. 共通事項

#### 現場説明事項書について

現場説明事項は、制約をうける当該工事に関する施工条件を明示することによって工事の円滑な執行に資することを目的としており、当該契約においてやむを得ず施工方法等について仮指定せざるを得ないもの、又は変更が予想されるもの、あるいは制約される工事工程等について現場説明参加業者が十分な見積りができるよう条件明示するものである。

そのため、明示された条件に変更が生じた場合は、契約書の関連する条項に基づき、適切に対応するものである。

また、明示されない施工条件、明示事項が不明確な施工条件についても、契約書の関連する条項にもとづき受注者と発注者とが協議できるものである。

## 第2章 仮置場復旧等工事

### 1. 基本事項

本工事施工の前提となる基本事項の処理については以下のとおりとし、これら条件に変更が生じた場合は、契約書の関連する条項に基づき、受注者と発注者とが協議するものとする。

#### (1) 用地関係

本工事に必要な仮置場用地の未処理部分の有無（無し有り）

#### (2) 協議関係

本工事に必要な設計協議等の未処理部分の有無（無し有り）

### 2. 制約条件に関する事項

・現段階においては、県道及び町道についての制約については想定していない。制約条件等に変更があった場合は対応方法について別途協議する。

### 3. 農地の原状回復に関する事項

- ・発注者が指定する場所においては、地権者の同意を得られた場合に限り、表土の削り取り（5cm程度）及び従前の高さまでの客土を行うものとする。
- ・畦畔・水路及び暗渠排水等の復旧等について、別途協議の対象とする。
- ・仮置場等の原状回復標準工法の見直しについて、必要に応じて設計変更の対象とする。

### 4. 仮置場等に関する事項

・檜葉町の各仮置場については、造成等が完了している。仮置場復旧等工事において、除去土壌等を移送する等の理由により、既設仮置場内の下部工の構造変更等を実施する

場合は、必要に応じて設計変更の対象とする。

#### 5. 除染同意に関する事項

・本工事の一部の前提となる関係人からの除染等の措置の実施の同意の取得状況に変更が生じる場合は、必要に応じて設計変更の対象とする。

#### 6. 除染のフォローアップに関する事項

・仮置場復旧等工事対象地域図に含まれる場所において除染のフォローアップが必要となった場合、その対応について協議し、必要に応じて設計変更の対象とする。

#### 7. 施工時間に関する事項

- ・本工事の工事設計労務単価は、仮置場復旧等の工種が主たる業務になるため補正割増しを行っていない。
- ・関係官公署その他関係する者から特に施工時間帯の制約を受け、それが他の施工現場の施工時間等で調整できない場合は、別途協議の上、設計変更の対象とする。
- ・労務単価は「平成 30 年度環境省除染等工事設計労務単価」を、技術者単価は「平成 30 年度国土交通省設計業務委託等技術者単価」を適用している。
- ・入札公告期間中の適用単価・積算基準の改正を受けて、新単価、新基準を適用することとした場合は、公示している現場説明書の差替により、周知を図る。

#### 8. 放射線防護に関する事項

・除染電離則に基づく放射線防護に要する費用は、当初設計においては、①保護具装具費（防塵マスク、個人線量計）、②除染電離則に係る安全講習費、③電離放射線健康診断を含む健康診断費、④セルフスクリーニング費、⑤放射線管理責任者を、共通仮設費・安全費に計上しているほか、諸経費対象外項目に、⑥除染等業務従事者の被ばく線量記録管理一元化に係る制度参加費用を計上している。これらのうち、②、⑥及び⑦除染等工事共通仕様書（第 11 版）1-1-34（4）に基づく作業員入退場時の WBC 受診費用については、⑥の制度等により確認できる実数に応じて、別途協議の上、設計変更の対象とする。

なお、上記以外のものについても、必要がある場合は別途協議の上、設計変更の対象とする。

#### 9. 防じん対策に関する事項

・本件工事に伴う防じん対策は、当初設計において計上しておらず、必要がある場合は、別途協議の上、設計変更の対象とする。

10. 交通安全に関する事項

・仮置場復旧等工事対象区域の範囲内の仮置場復旧等作業について、仮置場からの除去土壌等の運搬車両の出入りに伴い、一般通行車両最優先にて安全通行を行うため、当該箇所について、交通誘導員（交通誘導員B、2人/日）の配置を予定している。

なお、施工の手順、警察等関係機関との協議等によりこれにより難しい場合、又は上記以外の区間において交通誘導員が必要となった場合、別途協議の上、設計変更の対象とする。

11. 労働者等宿舎設置・撤去に関する事項

・労働者確保に要する労働者宿舎の設置及び撤去に要する費用は、当初設計において計上していない。必要がある場合は、別途協議の上、設計変更の対象とする。

12. 除雪に関する事項

・本工事の除雪に関しては当初計上していない。工事施工中、施工箇所（工用道路、仮設備）等の除雪を必要とする場合は対応に関して別途協議する。

13. 洗浄について

・タイヤ洗浄及び使用機械の洗浄に要する費用は、当初設計においては計上していない。必要がある場合は、別途協議の上、設計変更の対象とする。

14. 足場及び高所作業について

・足場については、高所作業車が使用できない場所のみに設置するものとし、具体的な設置場所は監督職員と協議の上、決定するものとする。当初設計で計上している足場及び高所作業車の数量は、上記協議の結果を受けて、変更対象とする。

15. 材料単価について

・材料について、割増し等は考慮していない。調達が困難な場合は、別途協議の上、単価合意書の記載事項を含み設計変更の対象とする。

16. 特殊勤務手当について

・本工事の仮置場復旧等工事対象地域においては避難指示が解除されているため、特殊勤務手当は計上しない。

17. 廃棄物について

・除去土壌等については、耐候性及び遮水性をしない容器に詰めるものとする。

なお、本工事の積算にあたっては、耐候性大型土のう袋（150 $\mu$ m ポリエチレン一重内袋）の黒色で計上している。

#### 18. 仮置場について

- ・仮置場の原状回復に伴い発生する資材等の運搬、処理に要する費用は、当初設計において計上している（収集・運搬及び中間処理受託料金は近県(茨城県)単価を採用）。これによりがたい場合は、別途協議の上設計変更の対象とする。

#### 19. 除染管理情報の作成について

- ・除染等工事共通仕様書 第 11 版 第 5 章 5-1-2 に基づく除染管理情報の作成費は、当初計上していない。工期末における実績等を踏まえて別途協議の上、設計変更の対象とする。

#### 20. その他

- ・積雪や凍結の気象条件により除染作業を行うことが困難になることを考慮して作業計画を作成すること。
- ・本工事の歩掛及び諸経費の算定にあたっては、除染特別地域における除染等工事暫定積算基準（第 11 版）を適用している。
- ・間接費には復興係数（共通仮設費 1.5、現場管理費 1.2）を乗ずるものとする。
- ・除染電離則第 19 条及び第 25 条の 8 で定める安全講習（特別教育）費については、2 名程度が 1 回受講する分を計上している。「除染等業務従事者被ばく線量登録管理制度」等により確認できる実際の受講者数が設計と異なる場合は、別途協議の上、設計変更の対象とする。